

MEE

受付案内システム

形名

CA-15HF5W-1 (パールホワイト)

CA-15HF5M-1 (マルーンブラウン)

CA-15HF5B-1 (ダークグレー)

取扱説明書

コン コン コール®
Computer Conducting Call System

デスクトップタイプ

スピーカーフォン仕様

このたびは、受付案内システム「コンコンコール」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、機能・取扱い方法などを十分ご理解の上、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

また、ご不明な点につきましては、販売代理店または弊社営業所までご相談ください。

- 本製品をご使用になる前には、必ず「1 1) 安全のために必ず守ること」および「1 2) 使用にあたってのお願い」をよくお読みになり正しくお使いください。

[お願い]

- 本書は、必要に応じていつでもご覧になれるよう大切に保管してください。
- 本書を適用しないで生じた間接障害を含めたいかなる損害についても責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容の一部または全ての無断転載、無断複写は禁止されています。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社営業窓口または、技術的な問合せ窓口までご連絡ください。
- 本書の内容およびシステムを構成する機器、仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できず、また アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.No servicing is available outside of Japan.

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品はLAN部分について電気通信事業者（固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線に直接接続することはできません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ず認証取得済みルータ等を経由し接続してください。

[保証について]

- 本書の注意書きに基づく正常な使用状態のもとで、保証期間内に万一故障し弊社がそれを認めた場合、無償にて故障箇所の修理または交換をいたします。
- 本製品を正しく安全にご使用いただくため、「1 1) 安全のために必ず守ること」を必ずお守りください。
これらの注意事項に反した取扱いにより生じた損害について、当社は責任と保証を致しかねます。

目次












1	ご使用になる前に	1
1)	安全のために必ず守ること.....	1
2)	使用にあたってのお願い.....	3
◆	設置場所についての注意.....	3
◆	使用時の注意.....	3
◆	2台以上導入する場合の注意.....	3
◆	システム使用許諾契約について.....	3
◆	寿命について.....	3
◆	保守パックについて.....	3
3)	コンコンコール デスクトップタイプ <small>(スピーカーフォン仕様)</small> とは.....	3
4)	本体と付属品の確認.....	4
5)	各部の名称.....	5
6)	使用前の準備.....	6
◆	必ず用意するもの.....	6
◆	あると便利なもの.....	6
◆	機器の設置と接続.....	7
7)	画面構成と操作方法.....	9
8)	画面遷移図.....	12
2	起動と終了	13
1)	システムの起動・終了方法.....	13
2)	メインプログラムの起動・終了方法.....	13
3)	自動起動・自動終了.....	13
4)	画面の3点タッチ(システムメニュー).....	14
5)	管理メニュー.....	15
3	初期設定	16
1)	システムの保護について.....	16
◆	システムの保護の無効化.....	16
◆	システムの保護の有効化.....	16
2)	ネットワーク設定.....	17
3)	アナウンス用スピーカー音量の調整.....	17
4)	電話回線のダイヤル方式がパルスの場合.....	17
5)	通話音量の調整.....	18
6)	人感センサー反応速度の調節.....	18
7)	動体検知感度調整.....	19
8)	メッセージポップアップサーバーの設定 <small>(スペシャルプラン)</small>	20
9)	通話履歴と内蔵カメラ映像の保存設定 <small>(スペシャルプラン)</small>	21
10)	来訪予約の設定 <small>(来訪予約オプション)</small>	22
4	自動起動・自動終了時刻の設定	23
1)	スケジュール運転管理画面.....	23
2)	スケジュールの編集.....	25
3)	注意点.....	26
◆	24時間運転する場合.....	26
◆	システム停止時の停電または瞬時停電.....	26
◆	システム停止時の起動.....	26
◆	時計補正のお願い.....	26

5	連絡先データの登録・修正方法	27
1)	データメンテナンス ツール	27
2)	連絡先データの新規登録.....	30
3)	連絡先データの登録内容変更.....	30
4)	連絡先データの表示順・階層変更	31
5)	連絡先データの削除	32
6)	内線データの保存.....	32
7)	更新日時を予約して保存.....	32
8)	更新予約日時の管理	32
9)	外部データベース書き出し	33
10)	外部データベース取り込み	34
11)	テキストファイル出力.....	34
12)	テキストファイル入力.....	35
13)	組織選択画面を使用する	36
14)	Excel ファイルから部門・担当者データを取り込む.....	38
6	担当者のパソコンでできること	41
1)	メンテナンスツール	42
2)	メッセージポップアップ (スペシャルプラン)	46
3)	通話履歴閲覧 (スペシャルプラン).....	49
4)	来訪予約 (来訪予約オプション)	52
7	データのバックアップ/復旧	57
1)	バックアップ	57
2)	復旧	57
8	こんなとき	58
1)	文字を入力する(ソフトウェアキーボード)	58
2)	右クリック操作をする.....	59
3)	タッチ位置を補正する(キャリブレーション).....	60
4)	盗難防止対策.....	60
5)	お手入れ.....	61
◆	外装清掃時.....	61
◆	タッチパネル清掃時.....	61
6)	「故障かな?」と思ったら	62
◆	起動に関するトラブル	62
◆	動作に関するトラブル	62
9	付録	63
1)	保証とアフターサービス	63
◆	お問い合わせ先.....	63
◆	保証書について	63
2)	仕様	64
◆	ハードウェア仕様.....	64
◆	ソフトウェア仕様.....	65
◆	外形図.....	65

1 ご使用になる前に

1) 安全のために必ず守ること

- ◆ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	禁止	可燃性、爆発性ガスまたは蒸気のある場所では使用しない。 (爆発や火災の原因になります)
	禁止	電子機器の使用が制限または禁止されている場所 (病院など) では使用しない。 (電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因になります)
	禁止	開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしない。 (火災や感電の原因になります)
	禁止	製品に水をかけたりしない。 (火災や感電の原因になります)
	厳守	発煙、異音・異臭がしたらすぐに電源プラグをコンセントから抜く。 (異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災等の原因になります)
	厳守	交流100Vを使用する。 (交流100V以外を使用すると、発熱による火災の原因になります)
	禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 (感電することがあります)
	分解禁止	本製品を分解・改造・修理しない。 (火災・感電・けがの原因になります)
	禁止	落雷時はモジュラケーブルや通信ケーブルに手を触れない。 (感電することがあります)
	禁止	下記目的のために使用しない。 核施設・航空機の航空制御もしくは離着陸の管制システム・自動車やバスの運転・船舶の航行・生命維持装置のような、生命・身体・健康に影響をおよぼす環境下における、オンライン制御装置



注意

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの



禁止

以下のような場所で使用しない。

- ・ 狭く熱のこもる場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 湿気やホコリが多い場所
- ・ 温度差の激しい場所
- ・ 熱器具に近い場所
- ・ 水気の多い場所
- ・ 振動や衝撃が加わる場所
- ・ 不安定な場所
- ・ 強い磁力電波が発生するものに近い場所



禁止

タッチパネルに衝撃や過度の力を与えない。
(ガラスが破損してけがの原因になります)

万が一液晶パネルが破損した場合、内部の液体に触れた手で目をこすらないでください。内部の液体が目に入った場合は、すぐに流水で15分洗浄した後、医師にご相談ください。



禁止

接続線をつけたまま移動しない。
(転倒によりけがをすることがあります)



電源プラグ
を抜く

電源プラグを持って抜く。
(コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります)



厳守

電源プラグのほこりなどは定期的にとる。
(漏電火災の原因になります)



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は電源プラグを抜く。
(感電することがあります)



禁止

他の機器と接続しない。(電源・交換機(内線)・LAN・セキュリティ制御装置のみ接続可)



禁止

付属品のセットアップCD-ROMを、オーディオ用CDプレイヤーで再生しない。(大音量により耳に傷害を与えたり、スピーカーを破損することがあります)

2) 使用にあたってのお願い

◆ 設置場所についての注意

以下のような場所で使用しないでください。

- ・ 狭く熱のこもる場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 湿気やホコリが多い場所
- ・ 温度差の激しい場所
- ・ 熱器具に近い場所
- ・ 水気の多い場所
- ・ 振動や衝撃が加わる場所
- ・ 不安定な場所
- ・ 強い磁力電波が発生するものに近い場所

お願い： 周囲の騒音が大きい環境ではハンズフリー通話の音声が届きやすくなる場合があります。騒音レベルが65dBを超える環境でのご使用は避けることをお勧めいたします。(騒音レベル 65dB の目安はファミリーレストランの店内や夜間の一般道路周辺の騒音レベル程度です。)

◆ 使用時の注意

以下の項目を守り、正しくお使いください。

- ・ 交流100Vを使用する
- ・ 他の機器と接続しない（電源・交換機（内線）・LAN・セキュリティ制御装置のみ接続可）
- ・ シャープペンやドライバーなど、先の鋭利なものでタッチパネルを押さない
- ・ 本製品を分解・改造しない
- ・ お手入れの際に電源を切る
- ・ 製品を移動する場合は電源を切り、接続を外す

◆ 2台以上導入する場合の注意

本機を2台以上導入する場合、2台同時に通話すると互いに干渉し通話に支障が出るため、近接設置はできません。

◆ システム使用許諾契約について

受付案内システムはお客様と弊社との間で、システム使用許諾契約を締結することによって、ご利用になります。システム使用許諾契約の内容については、本書の最後に記載されておりますので、必ずお読みください。ご同意いただいた場合に限り、ご使用の開始ができます。

◆ 寿命について

設計寿命は、特に指定のない場合、週日(週日とは土・日・休日を除く平日)12時間使用で約6年です。但し、ご使用場所の環境や運転時間などにより、早期の部品交換が必要となる場合があります。また、製品に使用している構成部品には、定期的に交換が必要な部品や、場合によりオーバーホールが必要な部品があります。(バックライト、時計機能用ボタン電池)

◆ 保守パックについて

保守パック付製品をご購入いただきまたお客様は、追加料金なしで一定期間、保守・サポートいたします。保守パックは、パック付製品として販売しており、製品ご購入後に保守パック単独でのご購入はできません。詳しくは当社営業窓口またはお買い上げの販売店へお問い合わせください。

3) コンコンコール デスクトップタイプ(スピーカーフォン仕様)とは

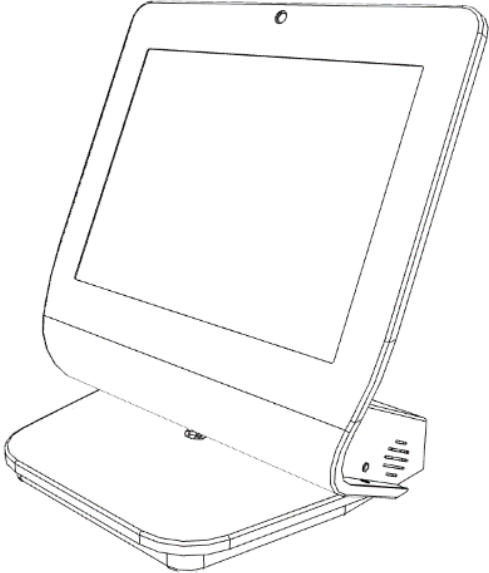
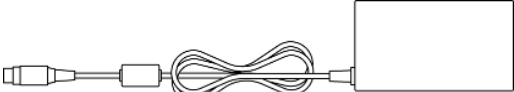


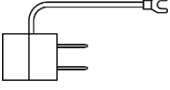
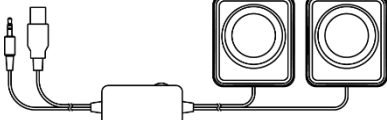

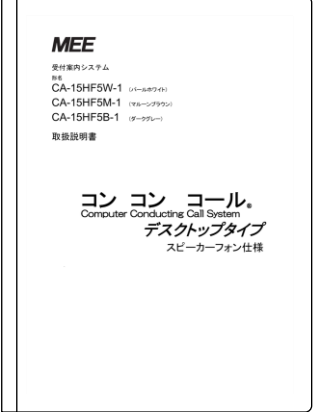
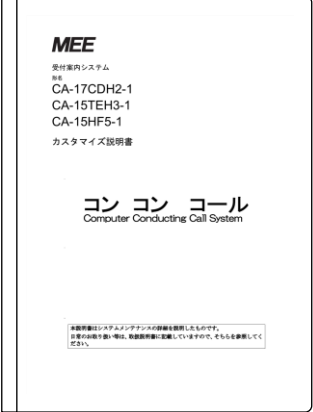
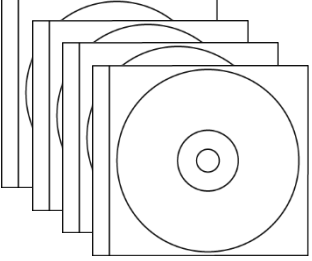
コンコンコール デスクトップタイプ(以下コンコンコール)はオフィス内での受付業務を代行するシステムです。

来訪者は画面およびガイダンスに従い、画面をタッチするだけで目的の担当者と内蔵マイクとスピーカーを通じてハンズフリーで会話をすることができます。

画面にはメッセージ(会社名等)を表示することができ、来客が無い状態では動画やBGM(バックグラウンドミュージック)を流すことができ、企業イメージのアップなどに効果があります。

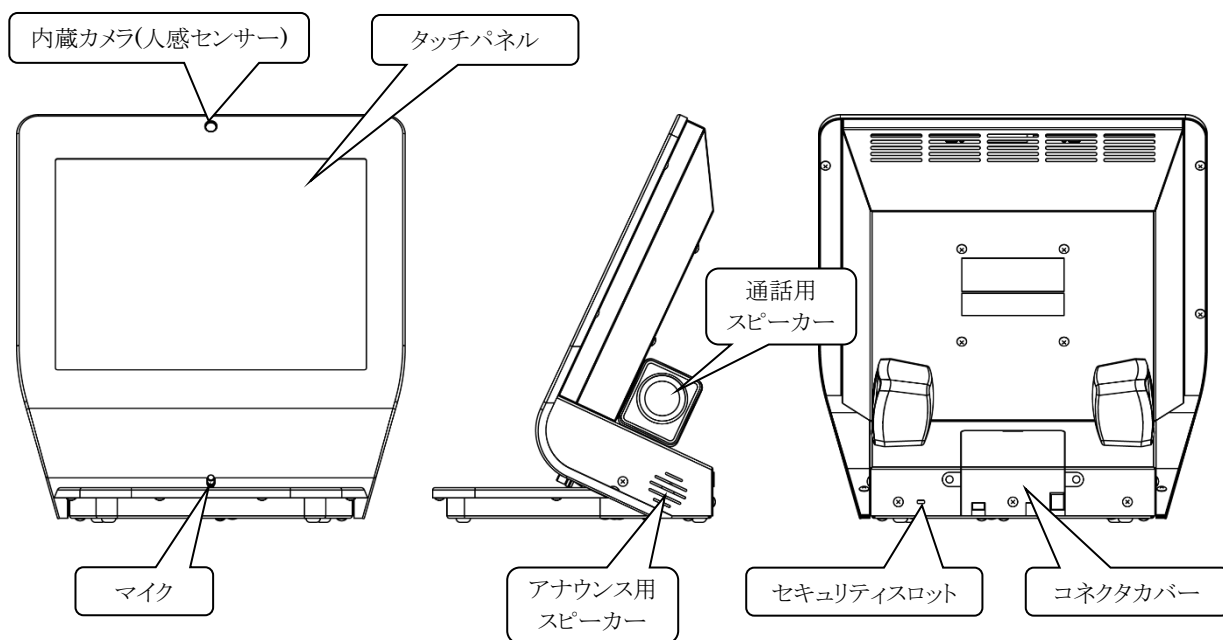
4) 本体と付属品の確認

本体および付属品を確認してください。

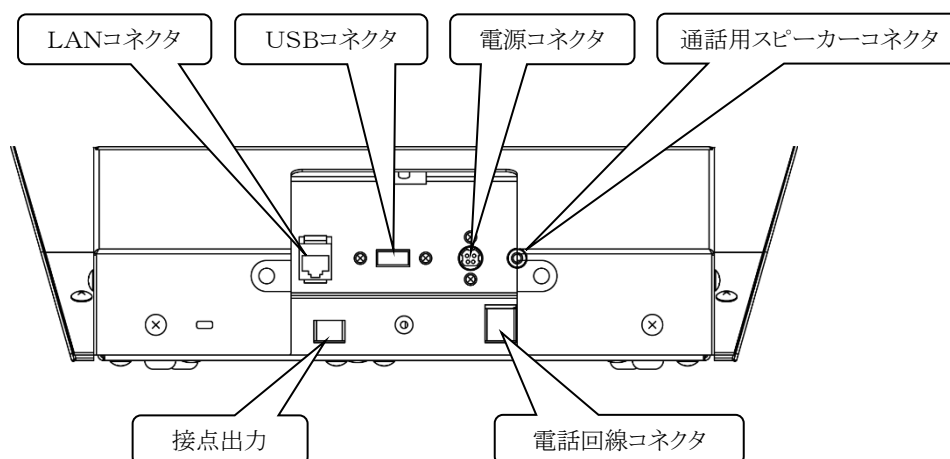
 本体		
 ACアダプター (1.5m)	 モデムケーブル (1.8m)	
 電源コード (1.9m)	 3P-2P変換アダプター	
 通話用スピーカー	 両面テープ (4枚)	
 取扱説明書 (本書)	 カスタマイズ説明書	 CD-ROM ・メンテナンスツール ・メッセージポップアップ※1 ・通話履歴閲覧ツール※1 ・来訪予約※2

※1 スペシャルプランに付属します。 ※2 来訪予約オプションに付属します。

5) 各部の名称



- 背面接続部詳細



6) 使用前の準備

◆ 必ず用意するもの

- 電源コンセント(AC100V)
- アナログ式(2芯)の内線用電話回線(極性反転あり)
 - ✓ デジタル内線の場合、電話交換機にアナログカードまたはデジタル→アナログ変換アダプターを追加することで対応できます。
 - ✓ IP電話の場合、VoIPアダプターまたはVoIPゲートウェイを追加することで対応できます。

注意: 本製品を極性反転がない電話回線で使用すると、通話途中の回線切断や通話終了後も回線が切断されないなどの意図しない動作が発生します。
やむを得ず極性反転がない電話回線を使用する場合は、設定の変更と制限事項の確認が必要となりますので、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先窓口(「9 1) 保証とアフターサービス」参照)へご相談ください。

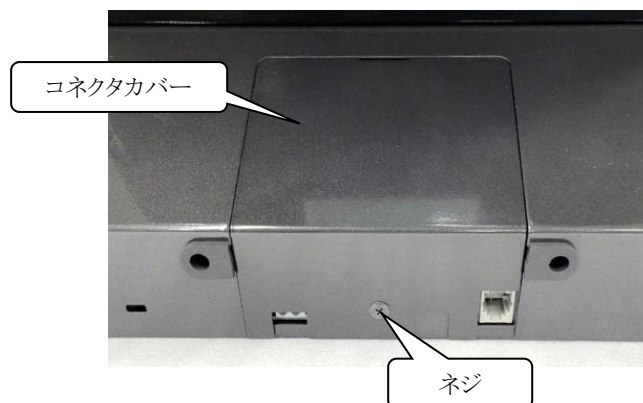
- プラストライバー 1本
 - ✓ コネクタカバーの取り外し・取り付けに使用します。

◆ あると便利なもの

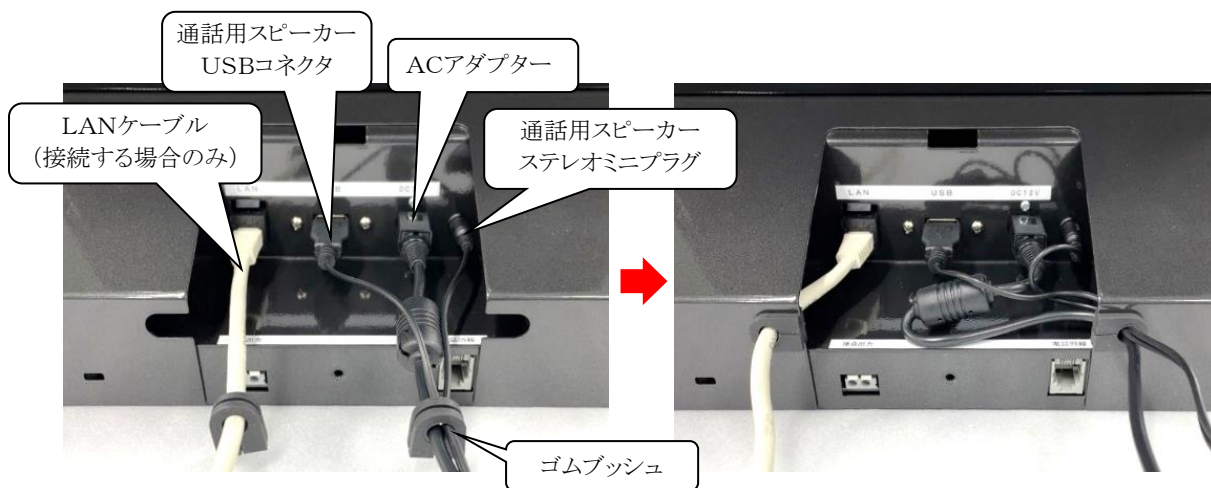
- 構内LANからのLANケーブル 1本
 - ✓ LAN経由でのデータメンテナンスが利用できます。
- データのメンテナンスに使用するパソコン1台, USBで接続するメモリー1個
(製品本体でデータのメンテナンスをする場合は必要ありません)

◆ 機器の設置と接続

- ① 本体背面のコネクタカバーを取り外します。



- ② ACアダプターとLANケーブルを接続します。
③ 通話用スピーカーのステレオミニプラグとUSBコネクタを接続します。
④ ゴムブッシュを取り外し、コード・ケーブルに通して元に戻します。



- ⑤ コネクタカバーを取り付けます。
⑥ モジュラケーブルを接続します。

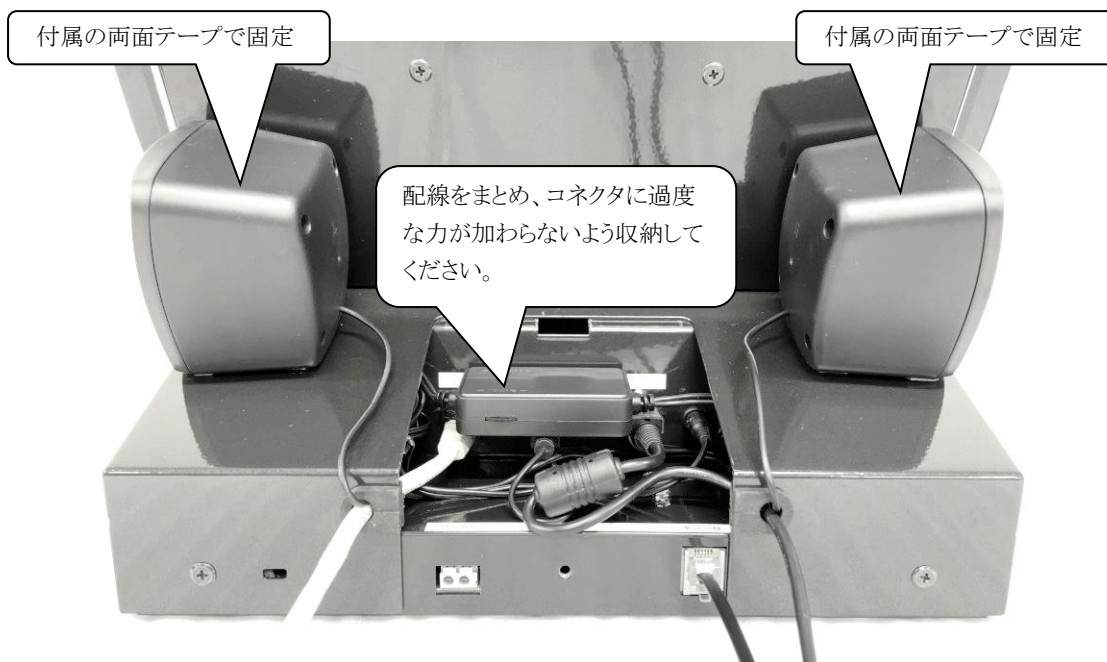


- ⑦ 電源コードをACアダプターに接続し、AC100Vコンセントに接続します。

1 ご使用になる前に





・ 通話用スピーカーの設置例

下記は通話用スピーカーを背面に固定し、ボリュームコントローラーをコネクタカバー内に収納した設置例です。




7) 画面構成と操作方法

ここでは標準コンテンツを例にコンコンコールの画面構成と操作方法を説明します。各画面の色調は筐体色に合わせて標準設定されますが、カスタム対応により例の通り4種類の色調から選択可能です。各画面は人感センサーの検知がなく、タッチ操作がない状態が一定時間続くとスタート画面に戻ります。

色調	パールホワイト・シルバー	シャンパンゴールド	マルーンブラウン	ダークグレー
起動画面	 <p>起動画面中央にコンコンコールの起動状況が表示されます。 起動後はスタート画面から始まります。</p>			
スタート画面（予約受付画面）	 <p>来訪予約オプション利用時に表示されます。 BGMが再生されます。 人感センサーの検知でアナウンス「いらっしゃいませ。」が再生されます。 数字入力ボタンをタッチして受付番号を入力し、「OK」をタッチすると呼出画面に変わります。 入力した受付番号は「1字削除」で一文字削除、「クリア」で全て削除することができます。 画面下部の言語ボタンをタッチすると操作言語を切り替えます。</p>			
スタート画面（組織選択画面）	 <p>複数組織登録時に表示されます。 BGMが再生されます。 人感センサーの検知でアナウンス「いらっしゃいませ。」が再生されます。 訪問先の組織をタッチすると検索方法選択画面に変わります。 画面下部の言語ボタンをタッチすると操作言語を切り替えます。</p>			
スタート画面（検索方法選択画面）	 <p>BGMが再生されます。 人感センサーの検知でアナウンス「いらっしゃいませ、お好みのボタンをお選びください。」が再生されます。 来客向けのメッセージ(会社名等)を表示します。 「部門検索」をタッチすると部門検索画面に変わります。 「名前検索」をタッチすると担当者の名前検索画面に変わります。 「総合案内」をタッチすると呼出画面に変わり、庶務(総務)部門などの代表を呼び出します。 「内線番号」をタッチすると内線番号呼出画面に変わります。 画面下部の言語ボタンをタッチすると操作言語を切り替えます。</p>			

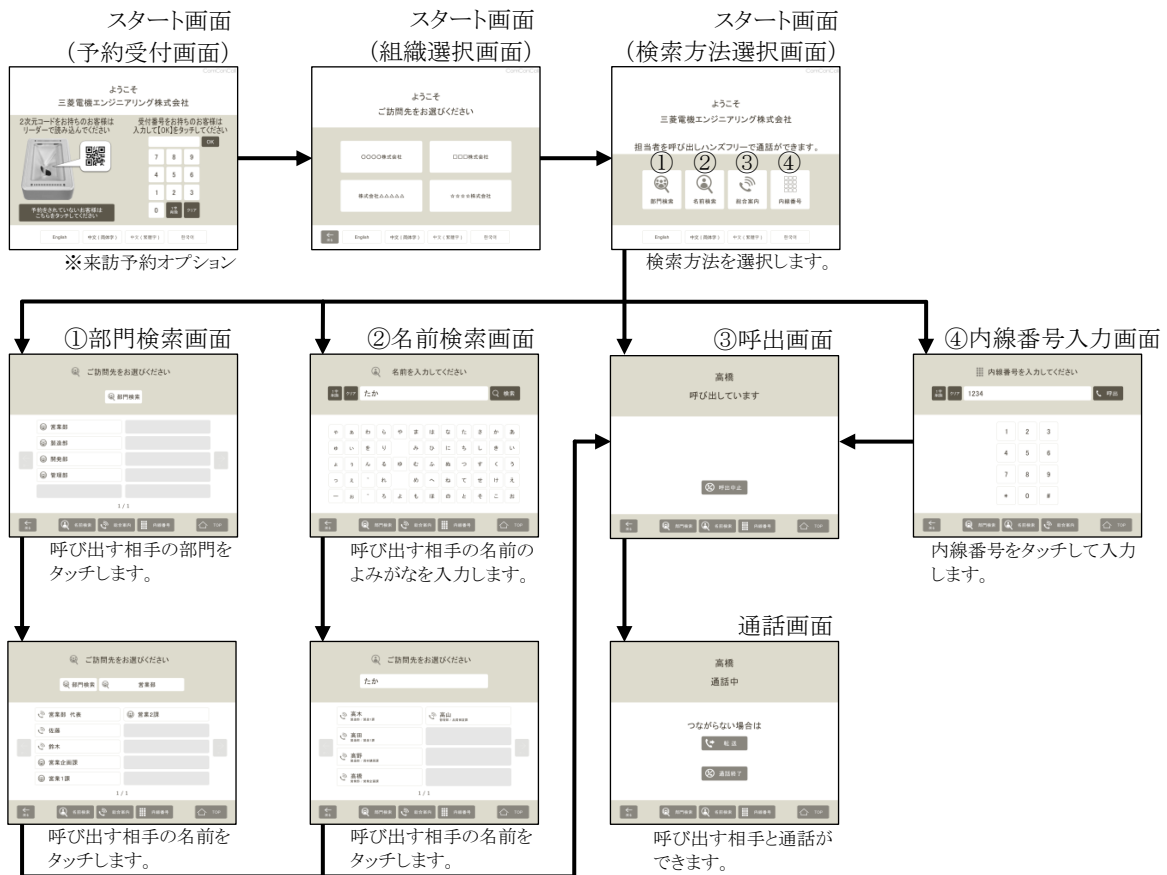
1 ご使用になる前に

色調	パールホワイト・シルバー	シャンパンゴールド	マルーンブラウン	ダークグレー
部門検索画面				
	<p>アナウンス「ご訪問先をお選びください」が再生されます。 コンコンコールに登録されている連絡先の一覧が表示されます。 連絡先の一覧で下階層に登録がある連絡先(組織アイコンが表示されています)をタッチすると下階層の連絡先の一覧を表示します。呼び出しできる連絡先(電話アイコンが表示されています)をタッチすると呼出画面に変わります。 連絡先が1画面に収まらない場合には左右の「←」「→」をタッチすることで残りの連絡先を表示させることができます。 連絡先の一覧の階層は最大7階層まで表示されます。</p>			
名前検索画面				
	<p>アナウンス「名前を入力して検索ボタンをタッチしてください」、「ご訪問先をお選びください」が再生されます。 文字入力ボタンをタッチしてコンコンコールに登録されている連絡先のフリガナを入力し、「検索」をタッチすると連絡先の一覧が表示されます。入力したフリガナは「1字削除」で一文字削除、「クリア」で全て削除することができます。 連絡先の一覧で下階層に登録がある連絡先(組織アイコンが表示されています)をタッチすると下階層の連絡先の一覧を表示します。呼び出しできる連絡先(電話アイコンが表示されています)をタッチすると呼出画面に変わります。 連絡先が1画面に収まらない場合には左右の「←」「→」をタッチすることで残りの連絡先を表示させることができます。 連絡先の一覧の階層は最大7階層まで表示されます。</p>			

色調	パールホワイト・シルバー	シャンパンゴールド	マルーンブラウン	ダークグレー
内線番号呼出画面				
	<p>アナウンス「番号の後に続けて呼び出しをタッチしてください」が再生されます。 数字入力ボタンをタッチして内線番号を入力し、「呼出」をタッチすると呼出画面に変わります。 入力した内線番号は「1字削除」で一文字削除、「クリア」で全て削除することができます。</p>			
呼出画面				
	<p>呼び出そうとする連絡先の情報が表示されます。 アナウンス「ただいま呼び出しております。しばらくお待ちください」が再生され、連絡先への呼出が始まります。 呼び出し先の電話のベルが鳴り始めると通話画面に変わります。 「呼出中止」をタッチすると呼び出しを中断して一つ前の画面に戻ります。</p>			
通話画面				
	<p>呼び出した連絡先の情報が表示されます。 呼び出し先が電話に出ない場合、「転送」をタッチすることで登録されている次の内線番号を呼び出します。 呼び出し先が電話を切るか「通話終了」をタッチすると通話を終了しスタート画面に戻ります。 タッチ操作も行われず人感センサーの検知もない状態が 30 分以上経過すると強制的に通話を終了しスタート画面に戻ります。</p>			

参考: 画面に表示される文字・ボタンの色の変更、一定時間経過後の画面が戻る時間の変更、背景や BGM の変更等はコンコンコール システムメンテナンスで行うことができます。詳細は「カスタマイズ説明書」を参照してください。

8) 画面遷移図



- 各画面の最下部[戻る]ボタンで1つ前の画面へ
- 各画面の最下部の検索方法選択ボタンで各検索画面へ
- 各画面の[TOP]ボタンまたは一定時間無操作で「スタート画面」へ

2 起動と終了

1) システムの起動・終了方法

本製品はシステムの設定により、電源が供給された時点で起動する設定となっています。

・ 起動方法

コンセントに電源プラグを差し込んでください。
(すでにコンセントに差さっている場合は、一旦抜いてから差し込んでください。)

お願い: 起動時に電話回線の状態確認が行われますので、必ず電話回線を接続して起動してください。

・ 終了方法

電源プラグを抜いてください。
(本製品はハードディスクを使用していないため、システムの保護が有効であれば、電源供給を遮断することで端末を終了できます。システムの保護については「**3 1) システムの保護について**」を参照してください。)


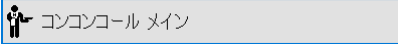
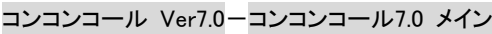
お願い: 電源供給の遮断による終了は必ずシステムの保護が有効化された状態で行ってください。(「**3 1) システムの保護について**」参照) また、データの書き込みを行っていないことを確認して終了してください。書き込み中に電源が切断されると、ドライブのファイルシステムやデータが破壊される恐れがあります。

2) メインプログラムの起動・終了方法

登録データの編集やシステムの設定を行う際には、メインプログラムを終了し Windows 画面で操作を行います。


・ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン()を実行し、
 を選択します。
- Windowsのスタートメニューから  を選択します。

お願い: 起動時に電話回線の状態確認が行われますので、必ず電話回線を接続して起動してください。

・ 終了方法

画面の3点タッチ(システムメニュー)から  を選択します。

画面の3点タッチ(システムメニュー)については、「**2 4) 画面の3点タッチ(システムメニュー)**」を参照してください。

参考: キーボードを接続している場合はキーボードの[Esc]キーでメインプログラムを終了させることができます。

3) 自動起動・自動終了

スケジュール運転管理プログラムにより設定時刻に起動・終了を行います。

スケジュール運転管理プログラムについては、「**4 自動起動・自動終了時刻の設定**」を参照してください。

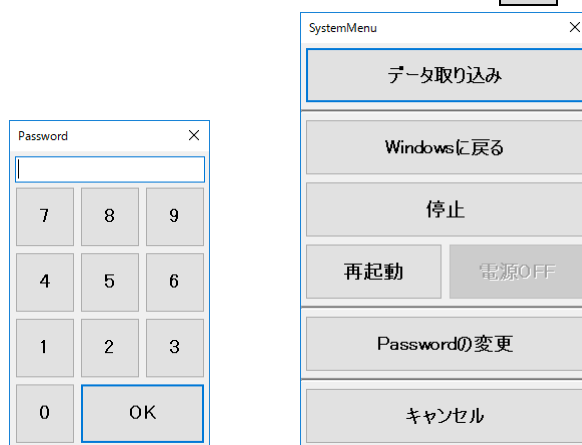
参考: スケジュール運転管理では、モニターを OFF にすることでシステムの停止を行っています。システム停止中に停電または瞬時停電等で電源供給が遮断され、その後再度電源が供給された場合には設定時刻に関係なく一時的にシステムが起動しますが、自動的にシステム停止状態となります。

4) 画面の3点タッチ(システムメニュー)

画面の3隅をタッチし、パスワードを入力することでデータの取り込み、プログラムの終了等の操作ができます。



- ① 各画面で3隅を順にタッチするとパスワード入力画面が開きます。
パスワード入力画面が表示されない場合は再度、順にタッチしてみてください。
- ② パスワードの初期値は「9999」に設定してありますので「9999」を入力し、**OK** をクリックします。



- ③ システムメニュー画面が開きますので目的の項目を選択してください。
 - データ取り込み** ……データベースファイルの取り込みを行います。
 - Windowsに戻る** ……コンコンコールのプログラムを終了し、Windows 画面に戻ります。
 - 停止** ……システムを停止します。
 - 停止解除** ……システムの停止を解除します。(停止状態の時に表示されます)
 - 再起動** ……システムの再起動を行います。
 - 電源 OFF** ……システムの電源を切ります。(スケジュール運転管理の環境設定にて「電源 OFF を有効にする」にチェックが入っている場合に有効になります)
 - Passwordの変更** ……パスワードの変更ができます。
 - キャンセル** ……コンコンコール画面に戻ります。


参考: 変更したパスワードはシステム設定に保存されます。システム設定の詳細は「カスタマイズ説明書」を参照してください。

5) 管理メニュー

メインプログラムの起動や、登録データの編集・システムの設定を行うプログラムを起動します。

・ 起動方法

Windows 画面にて以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン()を実行します。
- Windowsのスタートメニューから **コンコンコール Ver7.0** - **コンコンコール7.0 管理メニュー** を選択します。



コンコンコール メインメインプログラムを起動します。

コンコンコール データメンテナンスデータメンテナンスを起動します。

コンコンコール スケジュール運転管理スケジュール運転管理を起動します。

コンコンコール 通話履歴閲覧通話履歴閲覧を起動します。※1

コンコンコール システムメンテナンスシステムメンテナンスを起動します。

コンコンコール メッセージポップアップサーバーメッセージポップアップサーバーを起動します。※1

コンコンコール 来訪予約設定来訪予約の設定画面を開きます。※2

コンコンコール 動体検知感度調整動体検知感度調整を起動します。

システム再起動システムを再起動します。

閉じる管理メニュー画面を閉じます。

※1:スペシャルプランの機能です。 ※2:来訪予約オプションの機能です。

最下段のメッセージ「システムは保護されています」はシステムの保護の状態を表します。

システムの保護の詳細については「**3 1) システムの保護について**」を参照してください。

3 初期設定

1) システムの保護について

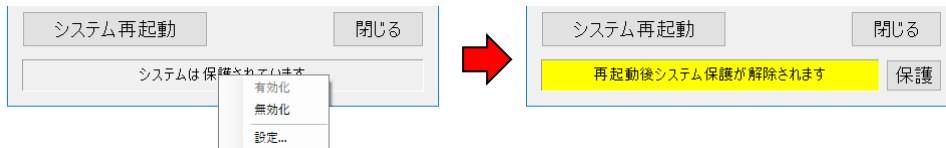
本端末はシステムドライブにプロテクトをかけ Windows のシステム関連の設定が保存されないようシステムの保護を行っています。そのためシステムの保護が有効化された状態で変更した内容は、システムの再起動時に破棄されて元の状態に戻りますので注意してください。

Windows のシステム関連の設定を変更し保存する場合はシステムの保護を無効化する必要があります。

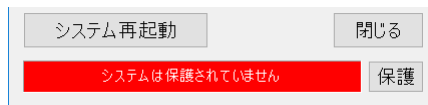
なお、コンソールで使用されるデータ領域 (C:\Program Files\ComCon\Call\Datas) はシステムの保護の対象から除外されていますので、システムの保護が有効化された状態でも変更内容は保存され、再起動によって元の状態に戻ることはありません。

◆ システムの保護の無効化

- ① 管理メニューの「システムは保護されています」の部分をクリックするとメニューが表示されます。(マウスを接続している場合は右クリックでもメニューを表示できます)
- ② **無効化** をクリックすると「再起動後システム保護が解除されます」の表示に変わります。

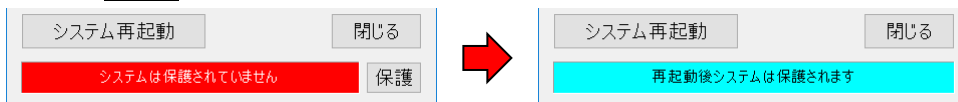


- ③ **システム再起動** をクリックし再起動します。再起動後「システムは保護されていません」の表示に変わります。

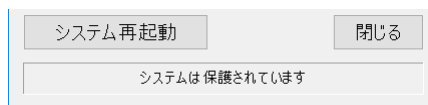


◆ システムの保護の有効化

- ① 管理メニューの **保護** をクリックすると「再起動後システムは保護されます」の表示に変わります。



- ② **システム再起動** をクリックし再起動します。再起動後「システムは保護されています」の表示に変わります。




お願い： Windows のシステム関連の設定を変更する時以外は、システムファイルの破損を防ぐため、システムの保護を有効化した状態で使用してください。

2) ネットワーク設定

ネットワークに接続しない場合は設定する必要はありません。

本製品は OS に Windows 10 IoT Enterprise を採用していますので、基本的に Windows 10 と同様の手順で設定を行ってください。

・ 固定IPアドレスを設定する場合

- ① システムの保護を無効化します。(「3 1) システムの保護について」参照)
- ② Windows のスタートメニューから  をクリックして「Windows の設定」を開き、「ネットワークとインターネット」を開きます。
- ③ 「アダプターのオプションを変更する」をクリックして表示されたネットワーク接続の一覧から「ローカルエリア接続」をダブルクリックして開きます。
- ④ 「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウの「この接続は次の項目を使用します(O):」の一覧から「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IP)」を選択し、**プロパティ(R)** をクリックします。
- ⑤ IP アドレス・サブネットマスク等を入力して **OK** をクリックし、「コントロールパネル」を閉じます。
- ⑥ システムの保護を有効化します。(「3 1) システムの保護について」参照)

お願い: お手持ちのパソコンとコンコンコールをネットワーク接続する際は、LAN ケーブルでの直結は避け、途中に LAN のハブを介すなどしてください。LAN ケーブルで直結するとネットワーク接続が不安定になり、ポップアップ画像(オプション)が映らないことがあります。

3) アナウンス用スピーカー音量の調整

- ① システムの保護を無効化します。(「3 1) システムの保護について」参照)
- ② Windows 画面でタスクトレイ上のスピーカーアイコンをクリックして音量を調整します。




- ③ システムの保護を有効化します。(「3 1) システムの保護について」参照)

注意: スピーカー音量を調整することでアナウンスの音量が変化します。ハンズフリー通話の音量を調整する場合は後述の「3 5) 通話音量の調整」により調整します。

4) 電話回線のダイヤル方式がパルスの場合

本製品は出荷時ダイヤル方式がトーンに設定してあります。ダイヤル方式がパルスの場合、以下の設定を行ってください。

- ① デスクトップ上の「コンコンコール 7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン  を実行し、**コンコンコール システムメンテナンス** を選択します。
- ② 登録情報フォルダーの「Settings」フォルダーを選択し、登録内容一覧の名前欄が「LineAssortment」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。もし見つからない場合はデータを新規作成します。
- ③ 値を「DP10」または「DP20」に変更して **OK** をクリックし、システムメンテナンスを終了します。

5) 通話音量の調整


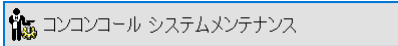
本製品を設置する環境により良好なハンズフリー通話を得られない場合、以下の調整を行います。

注意: 通話音量はハンズフリー通話に最適な状態を初期値として設定してあります。
不用意な通話音量の調整は音声の途切れなどによる通話品質の劣化に繋がりますのでお控えください。


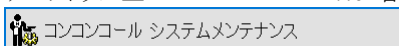
通話用スピーカーの音量を調整する場合

通話用スピーカーのボリュームコントローラーを回して調整します。

通話用スピーカーのボリュームコントローラーで調整できない場合

- ① デスクトップ上の「コンコンコール 7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン()を実行し、
 を選択します。
- ② 登録情報フォルダーの「Settings」フォルダーを選択し、登録内容一覧の名前欄が「PhoneSpkGain」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。もし見つからない場合はデータを新規作成します。
- ③ 値を1~255の範囲で変更して をクリックし、システムメンテナンスを終了します。(初期値は128)


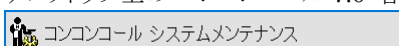
マイクの感度を調整する場合

- ① デスクトップ上の「コンコンコール 7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン()を実行し、
 を選択します。
- ② 登録情報フォルダーの「Settings」フォルダーを選択し、登録内容一覧の名前欄が「PhoneMicGain」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。もし見つからない場合はデータを新規作成します。
- ③ 値を1~255の範囲で変更して をクリックし、システムメンテナンスを終了します。(初期値は64)

参考: ハンズフリー制御の仕様上マイクの感度やスピーカーの音量を上げる(値を大きくする)と通話音声途切れやすくなります。周囲の騒音が大きい環境で通話音声途切れがちになる場合、マイク感度を下げる方向で調整すると改善が期待できます。



6) 人感センサー反応速度の調節

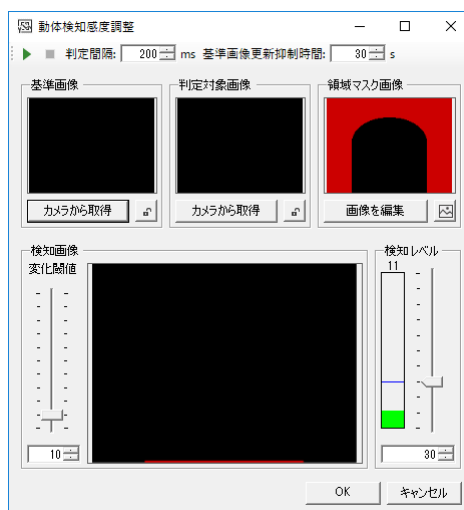
来客に対して人感センサーがなかなか反応しない場合や、人が通り過ぎるだけで反応してしまうような場合、適切な値に調節して下さい。工場出荷時の値は20です。


- ① デスクトップ上の「コンコンコール 7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン()を実行し、
 を選択します。
- ② 登録情報フォルダーの「Settings」フォルダーを選択し、登録内容一覧の Name 欄が「SensorSensitivity」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。もし見つからない場合はデータを新規作成します。
- ③ 来客を検知するまでの時間をミリ秒単位で設定して をクリックし、システムメンテナンスを終了します。0に設定した場合は人感センサーが無効の状態となります。

7) 動体検知感度調整

本製品では人感センサーとして内蔵カメラによる動体検知を行っております。設置場所の環境により内蔵カメラで撮影される映像の変化が大きく来客が無い状態でも反応してしまう場合には以下の設定を行ってください。

- ① デスクトップ上の「コンコンコール 7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン()を実行し、
 コンコンコール 動体検知感度調整 を選択します。
- ② 「動体検知感度調整」ウィンドウで最適な状態に調整し、**OK** をクリックして設定を保存します。
「動体検知調整」ウィンドウの調整項目は以下のとおりです。



 動体検知状態のテストを行います。設定された内容に従い連続して検知レベルを更新します。

判定間隔 動体検知状態を判定する時間間隔を設定します。

基準画像更新抑制時間 荷物が置かれたり什器が移動されたりした場合にそれが来客ではないと判断し基準画像を更新するまでの時間を設定します。

基準画像 来客の有無を判定するカメラ画像と比較する無人時のカメラ画像です。

判定対象画像 来客の有無を判定するカメラ画像です。

領域マスク画像 頻りに画像が変化する部分(道路やサイン画面等)を判定対象から除外するマスク画像です。


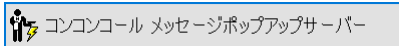
検知画像 基準画像と判定対象画像を比較し、変化した部分の画像です

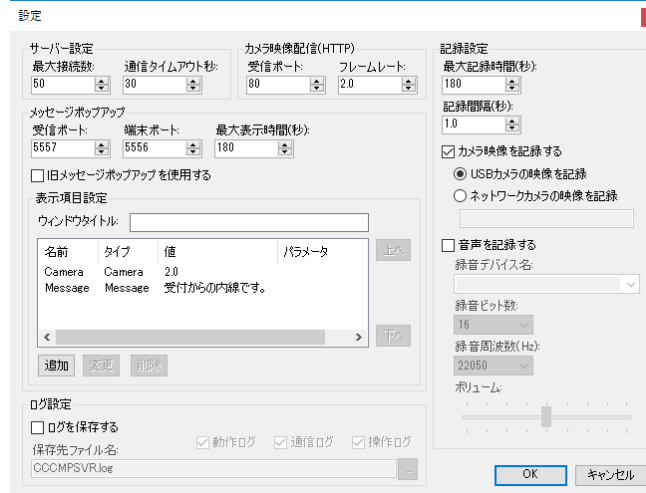
変化閾値 基準画像と判定対象画像を比較する際に変化したと判断する変化量です。

検知レベル 検知画像で変化した部分がどの程度あるかを示す値です。この値が指定されたレベルを超えた場合に来客として検知されます。

8) メッセージポップアップサーバーの設定 (スペシャルプラン)

担当者のパソコンにインストールされた「メッセージポップアップ」の制御を行うサーバー機能をお客様の環境や運用形態に合わせて設定を行ってください。

- ① デスクトップ上の「コンコンコール 7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン()を実行し、
 を選択します。
- ② メニューバーから **ファイル(F)ー設定(S)...** を選択します。
- ③ 設定画面と各項目の説明は以下のとおりです。




項目	説明
サーバー設定	
最大接続数	本サーバーに同時に接続できる端末数を設定します。
通信タイムアウト秒	端末からの応答が無く、端末が切断されたと判断するまでの時間を設定します。
カメラ映像配信(HTTP)	
受信ポート	Web ブラウザーからカメラ映像を閲覧する場合の TCP ポート番号を設定します。Web ブラウザーからの閲覧を無効にする場合は 0 を設定します。
フレームレート	カメラ映像を動画で閲覧する場合のフレームレートを設定します。
メッセージポップアップ	
受信ポート	担当者のパソコンにインストールされたメッセージポップアップからの接続要求を受け付ける TCP ポート番号を設定します。
端末ポート	担当者のパソコンにインストールされたメッセージポップアップに接続するための TCP ポート番号を設定します。
最大表示時間(秒)	ポップアップウィンドウが表示される最大時間設定します。
旧メッセージポップアップを使用する	旧製品との互換性のための設定で、通常は使用しません。

項目	説明												
表示項目設定													
ウィンドウタイトル	担当者のパソコンに表示されるポップアップのウィンドウタイトルを設定します。												
表示項目一覧	<p>追加 変更 削除 で担当者のパソコンに表示されるポップアップの表示内容を編集します。上 下 で表示順を変更します。</p> <p>表示項目の種類の一覧は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>Button</td> <td>電気錠開錠や入館票発行などの担当者のパソコンで操作する機能ボタンを表示します。</td> </tr> <tr> <td>Camera</td> <td>カメラ映像を表示します。</td> </tr> <tr> <td>Label</td> <td>説明などの文字列を表示します。(枠なし)</td> </tr> <tr> <td>Message</td> <td>連絡メッセージ等の文字列を表示します。(枠あり)</td> </tr> <tr> <td>Text</td> <td>担当者が文字列を入力できる枠を表示します。</td> </tr> <tr> <td>WebPage</td> <td>イントラネット等の Web ページを表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	Button	電気錠開錠や入館票発行などの担当者のパソコンで操作する機能ボタンを表示します。	Camera	カメラ映像を表示します。	Label	説明などの文字列を表示します。(枠なし)	Message	連絡メッセージ等の文字列を表示します。(枠あり)	Text	担当者が文字列を入力できる枠を表示します。	WebPage	イントラネット等の Web ページを表示します。
Button	電気錠開錠や入館票発行などの担当者のパソコンで操作する機能ボタンを表示します。												
Camera	カメラ映像を表示します。												
Label	説明などの文字列を表示します。(枠なし)												
Message	連絡メッセージ等の文字列を表示します。(枠あり)												
Text	担当者が文字列を入力できる枠を表示します。												
WebPage	イントラネット等の Web ページを表示します。												
ログ設定													
ログを保存する	稼働状況を記録するログを残す場合に設定します。記録するログの種類を「動作ログ」、「通信ログ」、「操作ログ」から選択します。												
保存先ファイル名	ログを保存するファイル名を設定します。												
記録設定													
最大記録時間	カメラ映像または音声を記録する最大時間を設定します。												
記録間隔	カメラ映像または音声を記録する間隔を設定します。												
カメラ映像を記録する	カメラ映像を記録する場合に設定します。記録する対象のカメラとして内蔵の USB カメラか外部のネットワークカメラを選択します。												
音声を記録する	音声を記録する場合に設定します。機器に接続した録音(音声入力)デバイスと記録音声フォーマット及びボリュームを指定します。												

9) 通話履歴と内蔵カメラ映像の保存設定 (スペシャルプラン)


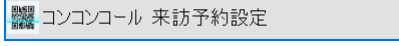
通話履歴のデータベースのファイル名と内蔵カメラ映像を保存するフォルダー名を設定します。

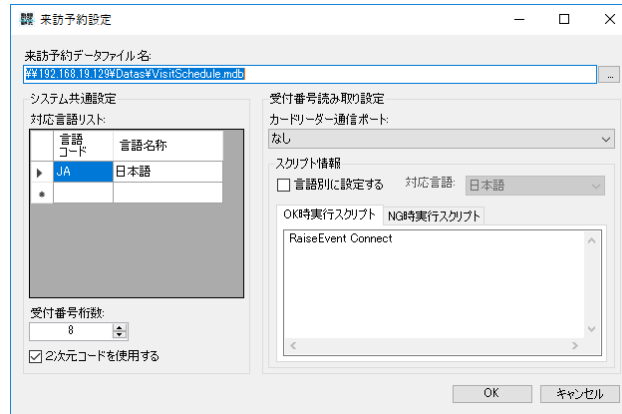
複数の担当者のパソコンから参照されることや、保存するデータの容量が大きくなることが予想されることから、保存先は空き容量に余裕のあるファイルサーバー等を設定することをお勧めします。なお保存データの容量の目安は 1.5GB/年(100 件/日×250 日)です。

- ① デスクトップ上の「コンコンコール 7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン(👤)を実行し、 コンコンコール システムメンテナンス を選択します。
- ② 登録情報フォルダーの「Settings」フォルダーを選択し、登録内容一覧の Name 欄が「CallLogDBFilename」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。もし見つからない場合はデータを新規作成します。
- ③ 通話履歴を保存するデータベースのファイル名を指定して **OK** をクリックします。
- ④ 登録情報フォルダーの「Forms」フォルダーを選択し、登録内容一覧の Name 欄が「Initialize」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。
- ⑤ Activate タブの「Set RecordCameraImage False」と書かれた行を「Set RecordCameraImage True」に書き換えます。
- ⑥ 登録情報フォルダーの「Settings」フォルダーを選択し、登録内容一覧の Name 欄が「StoragePath」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。もし見つからない場合はデータを新規作成します。
- ⑦ 内蔵カメラ映像を保存するフォルダー名を指定して **OK** をクリックします。

10) 来訪予約の設定 (来訪予約オプション)

来訪予約を利用するための設定を行います。

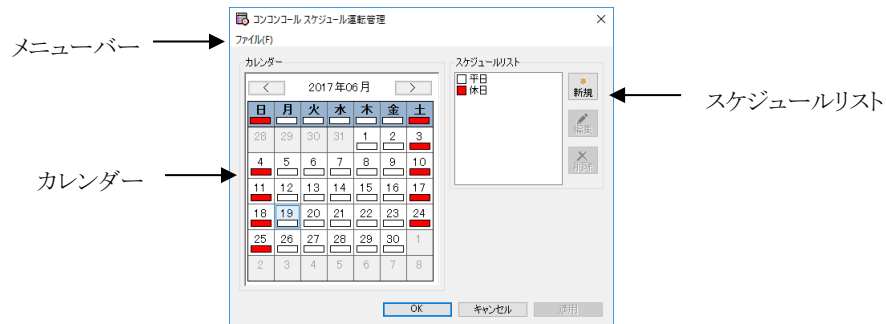
- ① デスクトップ上の「コンコンコール 7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン()を実行し、
 を選択します。
- ② 設定画面と各項目の説明は以下のとおりです。



項目	説明
来訪予約データファイル名	来訪予約データを保存するデータベースのファイル名を指定します。 複数の担当者のパソコンから参照されることから保存先はファイルサーバー等を設定することをお勧めします。
システム共通設定	
対応言語リスト	利用する言語のリストを登録します。
受付番号桁数	受付番号の桁数を指定します。総桁数のうち 2 桁はチェック用として使用します。受付番号が枯渇しない桁数+2 を指定してください。
2次元コードを使用する	2次元コードリーダーを利用する場合に選択します。
受付番号読み取り設定	
カードリーダー通信ポート	2次元コードリーダーを接続した通信ポートを指定します。
スクリプト情報	読み取り結果に応じて実行するコンコンコールのスクリプトを指定します。言語ごとに実行するスクリプトを変更する場合は「言語別に設定する」を選択し、言語ごとのスクリプトを指定してください。

4 自動起動・自動終了時刻の設定

1) スケジュール運転管理画面



・ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン(🖱️)を実行し、

 を選択します。
- Windowsのスタートメニューから **コンコンコール Ver7.0** - **コンコンコール7.0 スケジュール運転管理** を選択します。

・ メニューバー

ファイル(F)

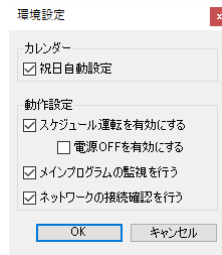
環境設定(S)... ……環境設定画面を開きます。

外部データベース書き出し(W)... ……設定されている内容をデータベースファイルに出力します。

外部データベース読み込み(R)... ……データベースファイルの内容を取り込みます。

終了(X) ……スケジュール運転管理を終了します。終了した場合、スケジュール運転は行われなくなります。

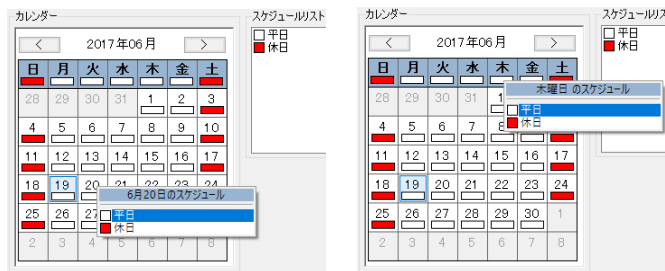
・ 環境設定



項目	説明
カレンダー	
祝日自動設定	祝日を自動で休日に設定します。(平成 30 年改正の国民の祝日に関する法律により祝日を設定しています)
動作設定	
スケジュール運転を有効にする	スケジュール運転の有効・無効を設定します。
電源 OFF を有効にする	スケジュールの停止時刻にシステムのシャットダウンを行います。次回起動する場合は電源の再供給が必要です。
メインプログラムの監視を行う	メインプログラムの稼働状況を監視し、動作不良が見つかった場合にメインプログラムを再起動します。
ネットワークの接続確認を行う	システムのネットワーク接続状況を確認し、接続不良があった場合にシステムを再起動します。

・ カレンダー




日付の下の色は、スケジュールリストでどのスケジュールを選択しているかを表します。曜日または日付をクリックすることで、スケジュールリストのスケジュールを選択できます。





・ スケジュールリスト

スケジュールの一覧です。スケジュールの編集・作成を行います。

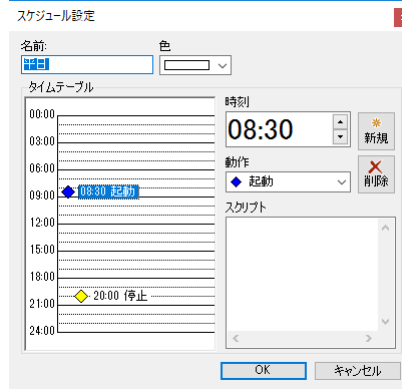


-  **新規**スケジュールを新規作成します。
-  **編集**選択されているスケジュールを編集します。
-  **削除**選択されているスケジュールを削除します。

2) スケジュールの編集


スケジュールリスト右の新規作成ボタン () または、編集するスケジュールを選んで編集ボタン () をクリックすると、スケジュール設定画面が表示されます。(編集するスケジュールをダブルクリックしてもスケジュール設定画面が表示されます)

タイムテーブルの内容により、起動・再起動・停止が行われます。



項目	説明
名前	スケジュールリストに表示される名称です。
色	カレンダー及びスケジュールリストに表示される色です。
タイムテーブル	設定されているスケジュールを表示します。
時刻	時刻を設定する場合に使用します。
動作	
起動	システムを再起動し、停止状態から復帰します。
再起動	システムの再起動を行います。
停止	システムを停止します。
スクリプト実行	スクリプトを実行します。
電源 OFF (環境設定で「電源 OFF を有効にする」に設定している場合)	システムの電源を OFF にします。次回起動する場合は電源の再供給が必要です。
スクリプト	動作で指定された処理を実行する前または後にスクリプトを実行します。 スクリプトを実行するタイミングは以下のとおりです。 起動 …………… 起動後 再起動 …………… 再起動前 停止 …………… 停止前 スクリプト実行 …… 指定時刻 電源 OFF …………… 電源 OFF 前


・ タイムテーブルへの登録

- ① 時刻欄の時刻を設定します。(タイムテーブル内をクリックすることで、クリックされた位置の時刻が入力されます)
- ② 動作欄で動作(起動/再起動/停止)を指定します。(環境設定で「電源 OFF を有効にする」に設定している場合は「電源 OFF」が追加されます)
- ③ 時刻欄右の新規ボタン () をクリックすると、タイムテーブル欄に登録されます。

・ タイムテーブルのデータを編集する

- ① タイムテーブル欄の編集するデータを選択します。
- ② 時刻欄または動作欄を編集します。

・ タイムテーブルのデータを削除する

- ① タイムテーブル欄の削除するデータを選択します。
- ② 時刻欄右の削除ボタン () をクリックします。

3) 注意点

◆ 24 時間運転する場合

システムのメモリークによるエラーを防ぐため、1 日 1 回の起動(再起動)のスケジューリングをお勧めします。

◆ システム停止時の停電または瞬時停電

スケジュール運転管理では、モニターを OFF にすることでシステムの停止を行っています。

システム停止中に停電または瞬時停電等で電源供給が遮断され、その後再度電源が供給された場合には設定時刻に関係なく一時的にシステムが起動しますが、自動的にシステム停止状態となります。

◆ システム停止時の起動

システム停止時に画面にタッチすると一時的にモニターが ON となります。(一定時間無操作が続くと再度モニターが OFF になります)

システム停止中であっても画面の3点タッチ(システムメニュー)から停止の解除やデータの取り込み、Windows 画面に戻ってデータを編集することができます。画面の3点タッチ(システムメニュー)については「**2 4) 画面の3点タッチ(システムメニュー)**」を参照してください。

◆ 時計補正のお願い

スケジュール運転管理では、Windows の時計を基にスケジュール運転を行います。Windows の時計はご使用の環境や状態などにより時刻がずれる場合がございますので、定期的に時刻補正を行ってください。

5 連絡先データの登録・修正方法

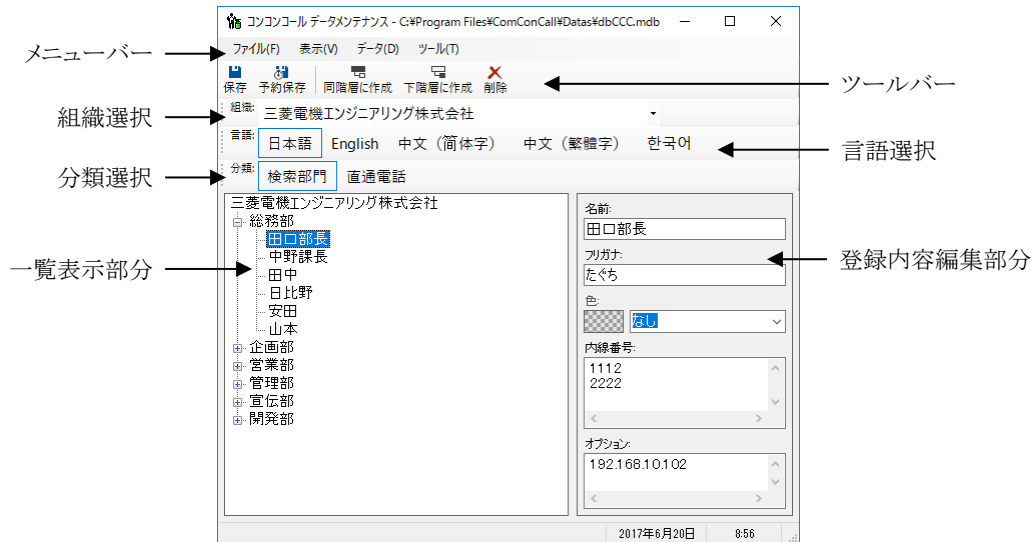
人事異動、部門の統廃合、改名など連絡先を編集する方法について説明します。

データの変更前、変更後には必ずバックアップを行ってください。変更に伴うデータの破損等については当社では保証を致しかねます。

参考: バックアップについては「7 データのバックアップ/復旧」を参照してください。

1) データメンテナンス ツール

連絡先データの登録・更新などの編集を行うには「データメンテナンス」ツールを使用します。



・ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール 7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン(👤)を実行し、**コンコンコール データメンテナンス** を選択します。
- Windowsのスタートメニューから **コンコンコール Ver7.0**—**コンコンコール 7.0 データメンテナンス** を選択します。

・ メニューバー

ファイル(F)

- データ保存(S)** ……………変更された内容をデータベースに保存します。
- 更新予約保存(T)…** ……………更新日時を指定して編集中の内容を保存します。
- 更新予約管理(M)…** ……………登録されている更新予約の情報を編集します。
- 変更の取り消し(C)** ……………変更を取り消し、データベースを再読み込みします。
- 外部データベース書き出し(W)…** ……………表示されている内容をデータベースファイルに出力します。
- 外部データベース取り込み(R)…** ……………データベースファイルの内容を取り込みます。
- データメンテナンスの終了(X)** ……………データメンテナンス画面を終了します。

表示(V)

- 組織** ▶ 編集を行う組織を一覧から選択します。システムの設定で複数の組織が登録されている場合に表示されます。
- 言語** ▶ 編集を行う言語を一覧から選択します。システムの設定で複数の言語が登録されている場合に表示されます。
- 分類** ▶ 編集を行う分類を一覧から選択します。システムの設定で複数の分類が登録されている場合に表示されます。
- 以下を展開(E)** 一覧表示部で選択されているデータから下位のノードを展開します。
- 以下を折りたたむ(C)** 一覧表示部で選択されているデータのノードを圧縮します。
- 最新の情報に更新(R)** データベースに保存されている最新の情報を表示します。
- バージョン情報 (V)** バージョン情報を表示します。






データ(D)

- 同階層に新規作成(N)** 選択されているデータと同じ階層にデータを新規作成します。
- 下階層に新規作成(M)** 選択されているデータの下階層にデータを新規作成します。
- 削除(D)** 選択されているデータを削除します。
- 選択データを別の組織へコピー** ▶ 一覧表示部で選択されているデータを別の組織へコピーします。一覧からコピー先の組織を選択します。システムの設定で複数の組織が登録されている場合に表示されます。
- 選択データを別の言語へコピー** ▶ 一覧表示部で選択されているデータを別の言語へコピーします。一覧からコピー先の言語を選択します。システムの設定で複数の言語が登録されている場合に表示されます。
- 選択データを別の分類へコピー** ▶ 一覧表示部で選択されているデータを別の分類へコピーします。一覧からコピー先の分類を選択します。システムの設定で複数の分類が登録されている場合に表示されます。
- コピー後に元のデータを削除する** 一覧表示部で選択されているデータを別の組織・言語・分類へコピーする際に元のデータを削除する(データを移動する)場合、選択してチェックマークを付けます。

ツール(T)

- テキストファイル出力(O)...** 表示されている内容をテキストファイルに出力します。
- テキストファイル入力(I)...** テキストファイルの内容を取り込みます。

・ ツールバー

-  **保存** …………… 変更された内容をデータベースに保存します。
-  **予約保存** …………… 更新日時を指定して編集中の内容を保存します。
-  **同階層に作成** …………… 選択されているデータと同じ階層にデータを新規作成します。
-  **下階層に作成** …………… 選択されているデータの下階層にデータを新規作成します。
-  **削除** …………… 選択されているデータを削除します。

組織選択 …………… 編集を行う組織を右側の ▼ をクリックして一覧から選択します。システムの設定で複数の組織が登録されている場合に表示されます。

言語選択 …………… 編集を行う言語のボタンを選択します。システムの設定で複数の言語が登録されている場合に表示されます。



分類選択 …………… 編集を行う分類のボタンを選択します。システムの設定で複数の分類が登録されている場合に表示されます。

・ 登録内容編集部分

一覧表示部分で選択したデータの登録内容を表示します。

- 名前 …………… ボタンに表示される名称です。
- フリガナ …………… 名前で検索する場合に入力します。
- 色 …………… ボタンに表示される文字色です。
「なし」を選択した場合、コンテンツで設定された規定の色で表示されます。
- 内線番号 …………… 内線番号を登録します。改行コード (**[Enter]** キーを押して入力) で区切ることで、複数 (改行コードを含め最大 **255** 文字まで) 入力することができます。通話中の場合など来訪者が転送ボタンをタッチすることで次行の内線をダイヤルします。(自動転送機能オプションを設定している場合は設定時間後に次行の内線にダイヤルします)
- オプション …………… 通常は使用しません。カスタマイズ等で内線データに説明文や識別コードを割り当てる場合に入力します。
メッセージポップアップを設定している場合は、ポップアップさせる端末のIPアドレスを入力します。(スペシャルプラン)

2) 連絡先データの新規登録

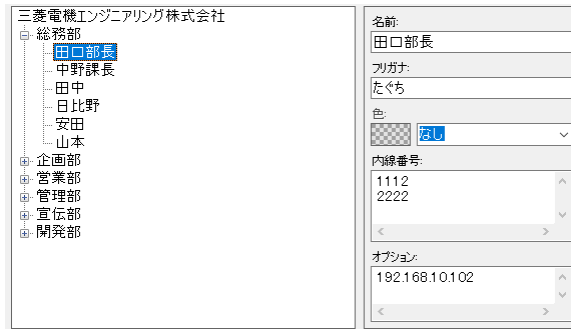
- ① 一覧表示部で新しく連絡先データを追加する階層の基準となるデータを選択します。
- ② 選択したデータと同階層にデータを作成する場合は、メニューバーから **データ(D) - 同階層に新規作成(N)** を選択します。(またはツールバーの  **同階層に作成** をクリックします。)
 選択したデータの下階層にデータを作成する場合は、メニューバーから **データ(D) - 下階層に新規作成(C)** を選択します。(またはツールバーの  **下階層に作成** をクリックします。)
- ③ 「新しいデータ 1」という名前の内線データが作成されます。
- ④ 登録内容編集部分で名前やフリガナ、内線番号などを設定します。



参考: 「部門検索」や「名前検索」で検索される連絡先データは分類の「検索部門」に登録します。検索方法選択画面に表示される「総合案内」などの連絡先データは分類の「直通電話」に登録します。

3) 連絡先データの登録内容変更

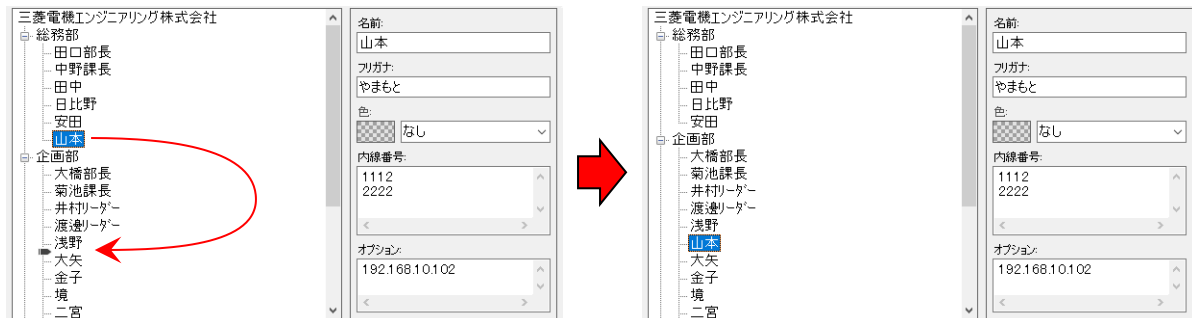
- ① 一覧表示部分で目的の連絡先データを選択します。



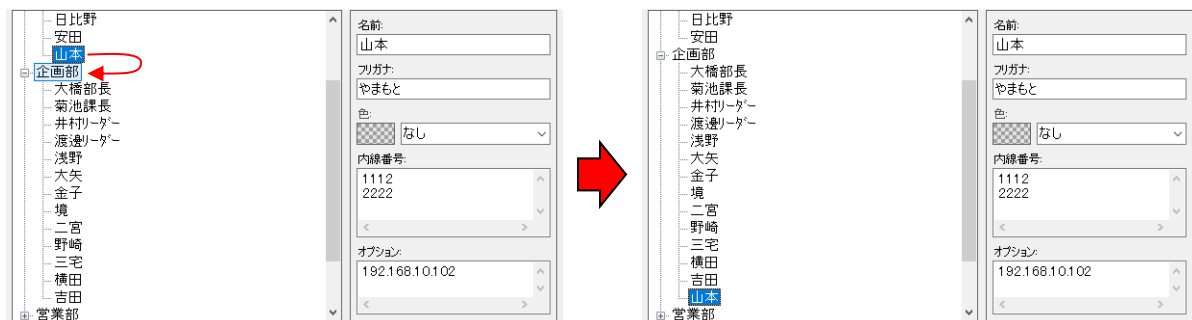
- ② 登録内容編集部で名前やフリガナ、内線番号などを編集します。

4) 連絡先データの表示順・階層変更


- ① 一覧表示部の表示順・階層を変更したい連絡先データにマウスカーソル(既定値では ☞)を合わせます。
- ② マウスの左ボタンを押したままマウスカーソルを目的の位置まで移動(ドラッグ)します。
- ③ 移動先の位置にガイドが現れます。このガイドを目印に連絡先データを移動してください。




- ④ キーボードの[Shift]キーを押しながら移動(ドラッグ)すると下階層への移動モードとなり、移動先が強調表示されます。連絡先データはこの強調表示された下階層の末尾に移動されます。




5) 連絡先データの削除

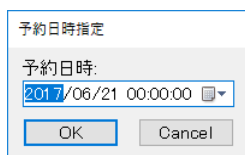
- ① 一覧表示部分で目的の連絡先データを選択します。
- ② メニューバーから **データ(D)→削除(D)** を選択します。(またはツールバーの  をクリックします。)
- ③ 削除確認のダイアログボックスが表示されますので削除する連絡先データを確認の上、よろしければ **はい(Y)** をクリックしてください。

6) 内線データの保存

- ① メニューバーから **ファイル(F)→データ保存(S)** を選択します。(またはツールバーの  をクリックします。)
- ② 保存せずにデータメンテナンス画面を終了しようとした場合、確認のダイアログボックスが表示されますので、保存する場合は **はい(Y)** をクリックしてください。

7) 更新日時を予約して保存

- ① メニューバーから **ファイル(F)→更新予約保存(T)...** を選択します。(またはツールバーの  をクリックします。)



予約日時指定

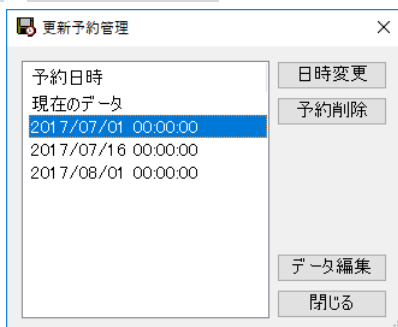
予約日時:
2017/06/21 00:00:00

OK Cancel

- ② データを更新する日時を指定して **OK** をクリックしてください。

8) 更新予約日時の管理

- ① メニューバーから **ファイル(F)→更新予約管理(M)...** を選択します。



更新予約管理

予約日時	日時変更
現在のデータ	予約削除
2017/07/01 00:00:00	
2017/07/16 00:00:00	
2017/08/01 00:00:00	

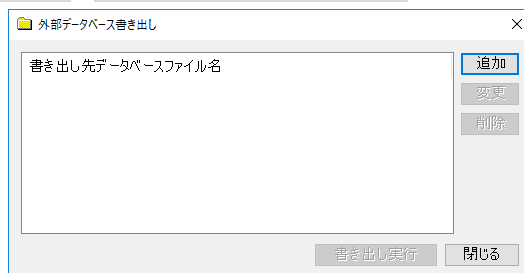
データ編集 閉じる

- ② すでに予約されている更新予定日時を変更する場合はリストから選択し、**日時変更** をクリックします。
- ③ すでに予約されている更新予定を取り消す場合はリストから選択し、**予約削除** をクリックします。
- ④ すでに予約されている更新予定の内線データを編集する場合はリストから選択し、**データ編集** をクリックします。(またはリストの予定日時をダブルクリックします。)編集した内線データを保存するにはメニューバーから **ファイル(F)→データ保存(S)** を選択します。(またはツールバーの **保存** をクリックします。)

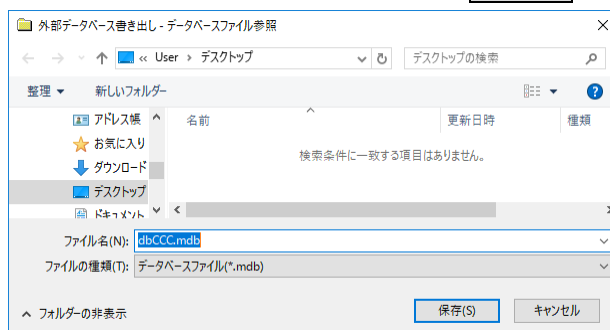
9) 外部データベース書き出し

外部データベース書き出しでは、連絡先データを別のデータベースファイルへ出力します。ネットワーク経由でのメンテナンス時やデータのバックアップ時に利用します。

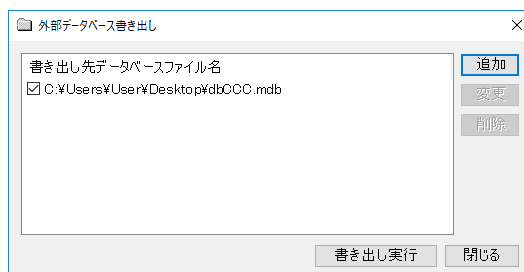
- ① メニューバーから **ファイル(F) - 外部データベース書き出し(W)...** を選択します。



- ② 初めて書き出しを行う場合または書き出し先を追加する場合は **追加** をクリックし、データベースファイル参照ダイアログボックスにて保存先ディレクトリ、ファイル名を指定し **保存(S)** をクリックします。



- ③ **書き出し実行** をクリックします。



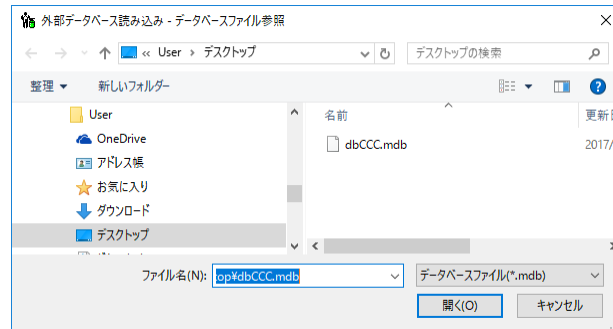
- ④ 書き出し先を変更・削除する場合はリストから選択し、**変更** または **削除** をクリックします。また、リスト左のチェックボックスにより書き出しの可否を選択することができます。

参考: 複数台のコンコンコールを設置しネットワーク経由でメンテナンスを実施している場合、書き出し先に各端末のデータベースを設定することで、同一内線番号データに一括更新することができます。

10) 外部データベース取り込み

外部データベース取り込みでは、別のコンコンコールデータベースファイルから内線番号データを取り込みます。メンテナンス用 PC を更新した場合にコンコンコール本体からデータを取り出す場合や、バックアップを復元する場合に利用します。

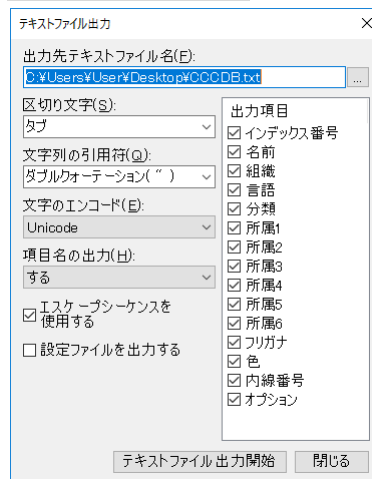
- ① メニューバーから **ファイル(F)**→**外部データベース取り込み(R)** を選択します。
- ② データベースファイル参照ダイアログボックスからデータベースファイルを指定し **開く(O)** をクリックします。



11) テキストファイル出力

テキストファイル出力では、コンコンコールデータベースの内線番号データをテキストファイル形式で出力します。

- ① メニューバーから **ツール(T)**→**テキストファイル出力(O)** を選択します。



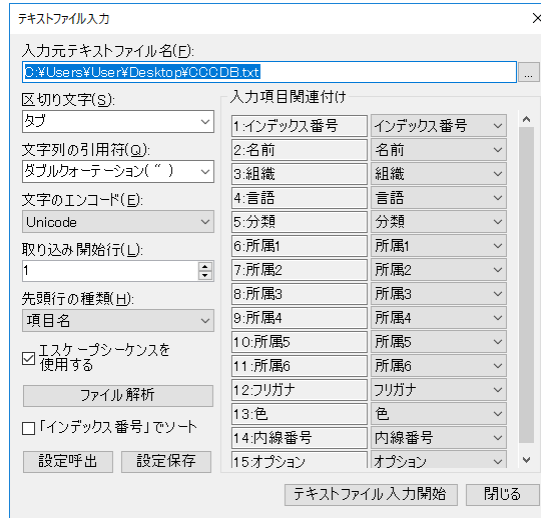
- ② テキストファイル出力ダイアログの各項目を設定し **テキストファイル出力開始** をクリックします。各項目の説明を以下に示します。

- 出力先テキストファイル名 ……出力先、ファイル名を指定します。
- 区切り文字 ……項目フィールド区切り記号の文字を指定します。
- 文字列の引用符 ……文字列の引用符を指定します。
- 文字のエンコード ……文字のエンコード形式を指定します。
- 項目名の出力 ……項目名を先頭行に出力する/しないを指定します。
- エスケープシーケンスを使用する ……制御文字(改行やタブ等)をエスケープ制御文字「¥」と組み合わせた文字で置き換えます。
- 設定ファイルを出力する ……現在の各項目の設定状態をファイルに保存します。
- 出力項目 ……出力する項目を選択します。

12) テキストファイル入力

テキストファイル入力では、区切り記号つきテキストファイルをコンコンコールデータベースに取り込みます。

- ① メニューバーから **ツール(T)ーテキストファイル入力(I)** を選択します。



- ② テキストファイル入力ダイアログの各項目を設定し **ファイル解析** をクリックします。各項目の説明を以下に示します。

- 入力元テキストファイル名 ……入力する区切り記号つきテキストファイルを指定します。
- 区切り文字 ……項目フィールド区切り記号の文字を指定します。
- 文字列の引用符 ……文字列の引用符を指定します。
- 文字のエンコード ……文字のエンコード形式を指定します。
- 取り込み開始行 ……取り込みを開始する行を指定します。
- 先頭行の種類 ……先頭行を項目として取り込むかデータとして取り込むかを指定します。
- エスケープシーケンスを使用する ……エスケープ制御文字「\」と組み合わせた文字を制御文字(改行やタブ等)に置き換えます。
- **ファイル解析** ……上記で指定された条件に従い入力元テキストファイルを解析し、結果を「入力項目関連付け」へ表示します。
- 「インデックス番号」順 ……入力項目関連付けで「インデックス番号」に割り当てられる項目で予め並び替えて取り込みます。
- **設定呼出** ……**設定保存** でファイルに保存された設定状態を呼び出します。
- **設定保存** ……現在の各項目の設定状態をファイルに保存します。
- 入力項目関連付け ……入力元ファイルの項目をコンコンコールデータベースのどの項目に取り込むかの関連付けを指定します。

- ③ 入力項目の関連付けが終了したら **テキストファイル入力開始** をクリックします。

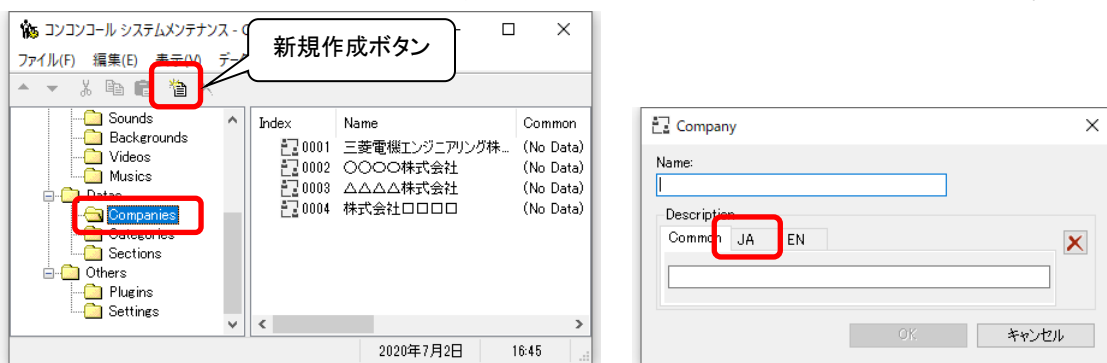
13) 組織選択画面を使用する

複数の組織で利用する場合など、来訪者が最初に訪問先組織を選択することができます。

・ 組織名の追加

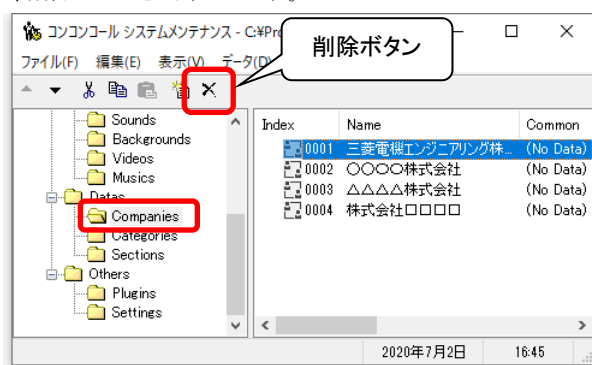
- ① 「システムメンテナンス」ツールを起動します。
- ② Companies フォルダーを選択し、新規作成ボタンをクリックします。
- ③ Name 欄と Description 欄の JA タブに組織名を入力し、**OK** をクリックします。

※ 日本語以外の言語を設定している場合は、それぞれのタブにそれぞれの言語で組織名を登録してください。



・ 組織名の削除

- ① 「システムメンテナンス」ツールを起動して Companies フォルダーを選択します。
- ② 削除する組織を選択し、削除ボタンをクリックします。



- ③ Sections フォルダーを選択します。
- ④ Company 列の③で削除した組織を選択し、削除ボタンをクリックします。複数存在する場合は全て削除してください。

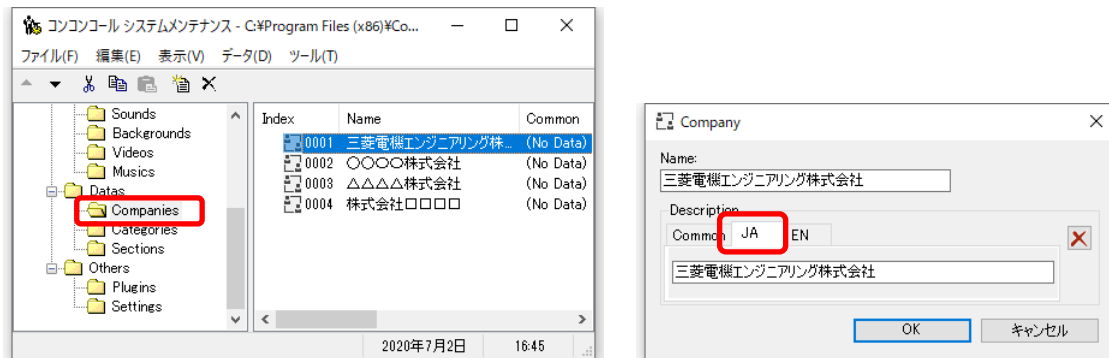
※ Sections フォルダー内のデータ削除は必須ではありません。データが残っていても動作には影響しませんが、データメンテナンス画面の組織欄に括弧付 ([]) の状態で表示されます。また、データメンテナンスでのテキストファイル出力では全てのデータが出力されますので、削除しておくことを推奨します。



・ 組織名の修正

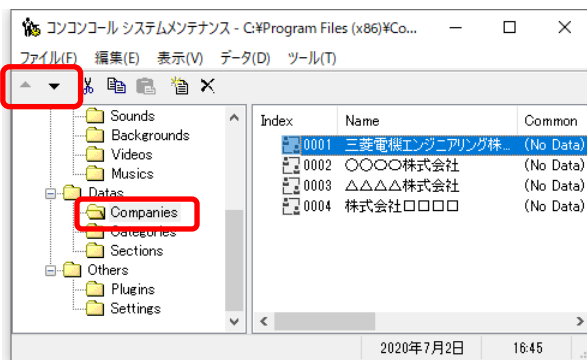
- ① 「システムメンテナンス」ツールを起動して Companies フォルダを選択します。
- ② 修正する組織をダブルクリックで開きます。
- ③ Name 欄と Description 欄の JA タブに登録されている組織を修正します。

※ 日本語以外の言語を設定している場合は、それぞれのタブの組織名を修正してください。



・ 組織名の表示順変更

- ① 「システムメンテナンス」ツールを起動して Companies フォルダを選択します。
- ② 表示順を変更する組織を選択し、▲▼ボタンで移動します。



参考: 組織選択後、検索方法選択画面に移行せず呼び出しを行う場合は、分類の「検索部門」には何も登録せず「直通電話」に同じ組織名のデータを登録します。

14) Excel ファイルから部門・担当者データを取り込む

Microsoft Excel ファイルでデータを作成してある場合、区切り記号つきテキストファイルに変換して取り込むことができます。

例として下記データを Unicode テキストファイルとして取り込む方法を説明します。

	A	B	C	D	E	F
1	内線一覧					
2		部	課	名前	ふりがな	内線
3	1	総務部		田口部長	タクチ	111
4	2	総務部	総務課	中野課長	ナノ	112
5	3	総務部	総務課	田中	タナカ	113
6	4	総務部	総務課	日比野	ヒビノ	113
7	5	総務部	総務課	安田	ヤスダ	114
8	6	総務部	総務課	山本	ヤマモト	114
9	7	総務部	人事課	菊池課長	キクチ	221
10	8	総務部	人事課	浅野	アサノ	222
11	9	総務部	人事課	太矢	オオヤ	222
12	10	総務部	人事課	金子	カネコ	223
13	11	総務部	人事課	境	サカイ	223

注意: ここで説明する手順はあくまで 1 例であり、全てのお客様で同じ手順であるとは限りません。お客様でご用意いただいた Excel データに合わせて取り込み設定を見直してください。

・ Unicode テキストファイルへの変換

- ① Excel ファイルを開き、メニューの **ファイル(F) - 名前を付けて保存(A)** を選択します。
- ② 「ファイルの種類」欄で「Unicode テキスト (*.txt)」を選択して保存します。

参考: CSV ファイルに変換する場合は「ファイルの種類」欄で「CSV(カンマ区切り)(*.csv)」を選択して保存します。

・ ファイルの取り込み

- ① 「データメンテナンス」ツールを起動します。
- ② メニューバーから **ツール(T) - テキストファイル入力(I)** を選択します。
- ③ 「入力元テキストファイル名」欄に保存したテキストファイルを選択します。
- ④ 「区切り文字」欄に「タブ」を選択します。
- ⑤ 「文字のエンコード」欄に「Unicode」を選択します。

参考: CSV ファイルに変換した場合は「区切り文字」欄に「カンマ(,)」、「文字のエンコード」欄に「Shift-JIS」を選択します。

- ⑥ 2 行目の項目名の行から取り込みを行うので「取り込み開始行」欄を「2」に設定し、「先頭行の種類」欄を「項目名」に設定します。
- ⑦ **ファイル解析** をクリックします。
- ⑧ 「入力項目関連付け」欄で、Excel の項目 (左側) をコンコンコールのどの項目 (右側) に関連付けるかを設定します。

参考: Excel の項目名 (左側) とコンコンコールの項目名 (右側) を同一にすることで、関連付けの作業を省略することができます。

・ 入力項目について

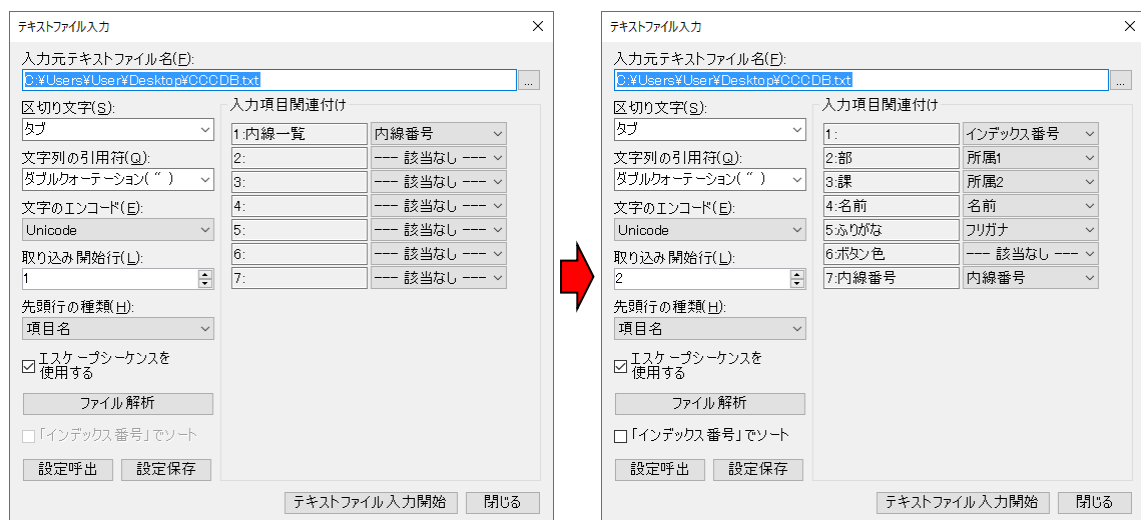
項目	説明
インデックス番号	インデックス番号に関連付けることでインデックス順にデータが登録されます。
名前	名前(表示名)を関連付けます。
組織	組織の識別名を関連付けます。
言語	言語の識別名を関連付けます。
分類	分類の識別名を関連付けます。
所属 1~6	所属する部署を所属 1 から順に関連付けます。
フリガナ	フリガナを関連付けます。
色	ボタンに色を割り当てる場合(男性→青、女性→赤など)は、Excel の列を追加して関連付けてください。関連付けない場合や、データが空欄の場合、ボタンはコンテンツごとの標準の色で表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	内線一覧						
2		部	課	名前	ふりがな	ボタン色	内線
3	1	総務部		田口部長	タカチ	青	111
4	2	総務部	総務課	中野課長	ナカノ	青	112
5	3	総務部	総務課	田中	タカ	青	113
6	4	総務部	総務課	日比野	ヒビノ	青	113
7	5	総務部	総務課	安田	ヤスタ	赤	114
8	6	総務部	総務課	山本	ヤマモト	赤	114
9	7	総務部	人事課	菊池課長	キクチ	青	221

内線番号 内線番号を関連付けます。複数の列に関連付けることができます。また「¥n」で区切ることで複数の内線番号を 1 列にまとめることができます。

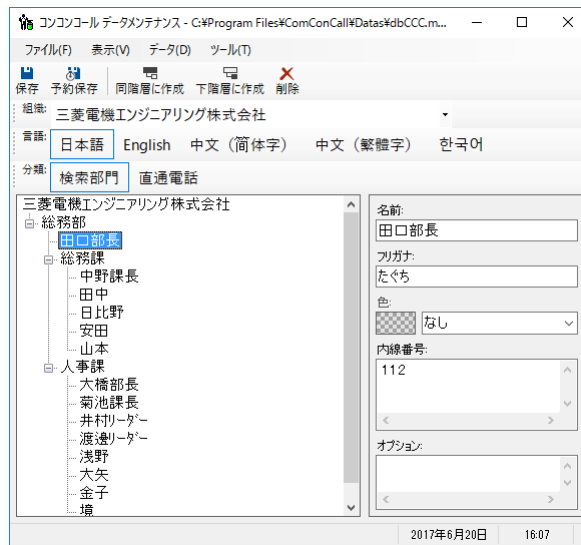
例) 内線番号を「111¥n222」とすると「111」と「222」の 2 つの内線番号として登録されます。

オプション カスタマイズにより指定された。メッセージポップアップを設定している場合は、ポップアップさせる端末のIPアドレスを関連付けます。



5 連絡先データの登録・修正方法

- ⑨ 「入力項目の関連付け」が終了したら **テキストファイル入力開始** をクリックします。
- ⑩ 以下の様にツリー状にデータが登録されます。



- ⑪ データを保存してコンコンコールを起動します。

6 担当者のパソコンでできること

担当者のパソコンに付属のソフトウェアをインストールすることで次に示す機能を利用することができます。担当者ごとに必要なソフトウェアを選択してインストールしてください。

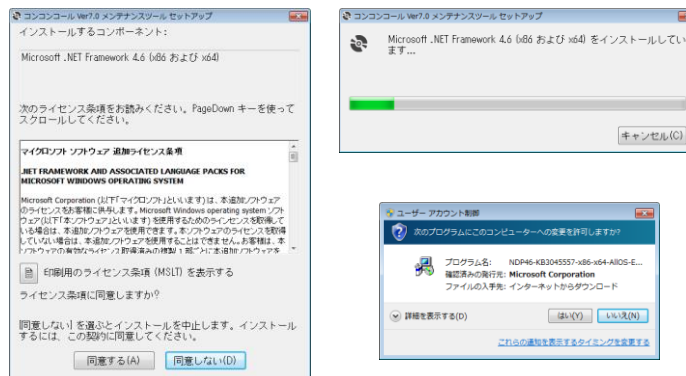
ソフトウェア名	説明
メンテナンスツール	コンコンコール本体で行う連絡先データの編集や自動起動・終了の設定などのメンテナンス作業を担当者のパソコン上で実施できます。
メッセージポップアップ (スペシャルプラン)	来訪者が担当者を呼び出した際、担当者のパソコンの画面上にポップアップウィンドウを表示し、来訪者のカメラ映像とともに内線呼び出しを通知します。
通話履歴閲覧 (スペシャルプラン)	コンコンコールから呼び出しを行った時間や通話先、内蔵カメラの映像等の履歴を閲覧できます。通話履歴は条件による絞り込みや、テキストファイルへの出力ができます。
来訪予約 (来訪予約オプション)	来訪されるお客様を事前に登録し、受付番号(2 次元コード)を発行します。来訪されるお客様は受付番号により簡単に対応者の呼び出しができます。また受付番号により呼び出しを行った通話は予約情報と共に記録され、通話履歴閲覧から参照できます。

参考: メンテナンスツールにはその他のソフトウェアが全て含まれていますのでメンテナンスツールをインストールしたパソコンにはその他のソフトウェアをインストールする必要はありません。

担当者のパソコンにインストールするソフトウェアの動作には Microsoft .NET Framework 4.6 が必要です。

Microsoft .NET Framework 4.6 がインストールされていないパソコンにソフトウェアをインストールしようとした場合、各ソフトウェアのインストールの初めに Microsoft .NET Framework 4.6 のインストール画面が表示されますので、ライセンス条項を確認の上、**同意する(A)** をクリックしてインストールしてください。

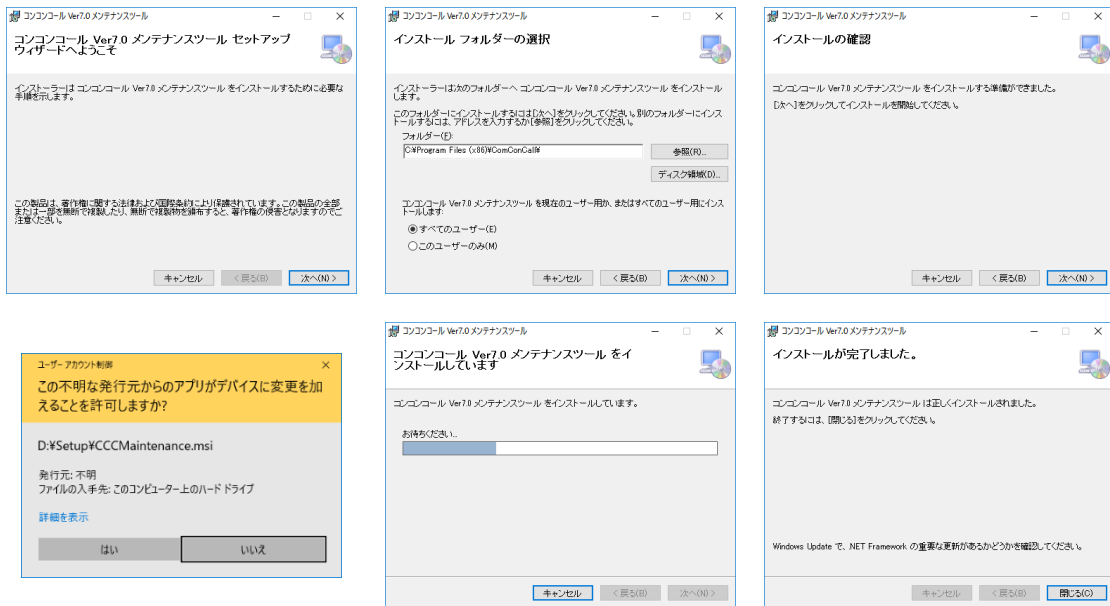
インストール途中でユーザーアカウント制御で「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示された場合は **はい(Y)** をクリックしてください。



1) メンテナンスツール

・ インストール方法

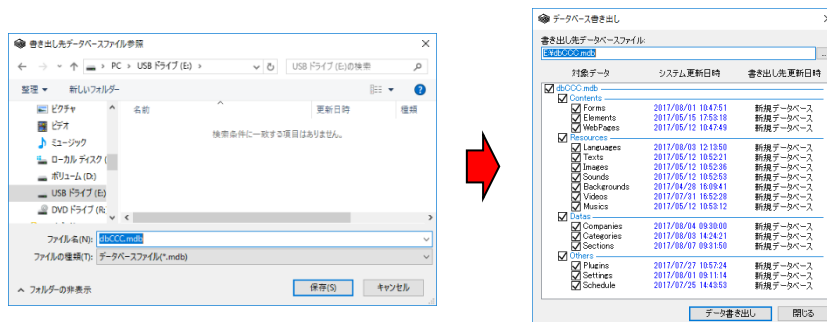
- ① データのメンテナンス用に用意したパソコンに、コンコンコール セットアップ CD-ROM を挿入します。
- ② CD-ROM の自動再生機能によりセットアップが起動します。セットアップが自動的に起動しない場合は、Windows の「スタート」メニューから **プログラムとファイルの検索** に「D:¥Setup¥Setup.exe」と入力してセットアップを実行してください。(CD-ROM ドライブが D: の場合)
- ③ メンテナンスツールのセットアップウィンドウが表示されたら **次へ(N)** をクリックします。
インストール先のフォルダーを指定し、インストールするユーザーのタイプを指定します。
インストール途中でユーザーアカウント制御で「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と表示された場合は **はい** をクリックしてください。
セットアップが終了し、「セットアップの完了」のウィンドウが表示されたら **閉じる(C)** をクリックします。



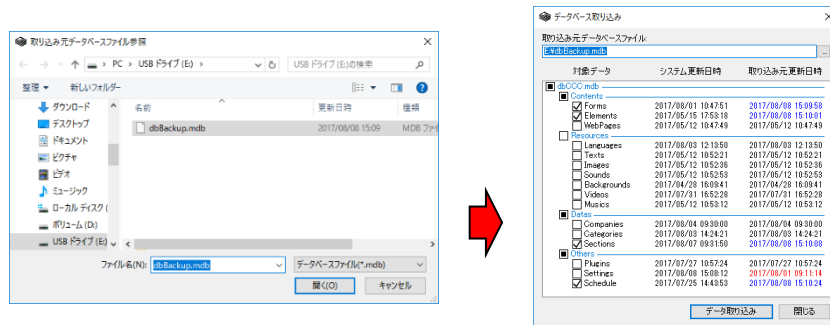
- ④ 次項の **メンテナンスデータの最新化** を参照し最新のデータを取り込みます。

・ メンテナンスデータの最新化(USB メモリー等を使用する場合)

- ① 稼働中のコンコンコール本体でメインプログラムを終了させます。
- ② USB メモリー等のリムーバブルメディアをコンコンコール本体にセットします。パスワードや指紋認証付きのリムーバブルメディアを使用している場合はロックを解除してください。
- ③ 管理メニューから「コンコンコール システムメンテナンス」を起動します。
- ④ メニューバーから **ファイル(F) - 外部データベース書き出し(バックアップ)...** を選択します。
- ⑤ ファイル参照ダイアログボックスで保存先を USB メモリー等にした任意のファイル名を指定して **保存(S)** をクリックします。



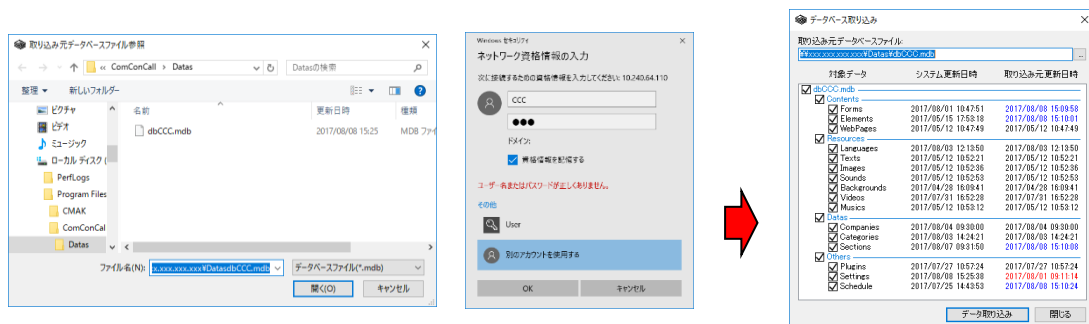
- ⑥ 対象データを全て選択して **データ書き出し** をクリックします。
- ⑦ 書き出し終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。
- ⑧ リムーバブルメディアをコンコンコール本体から取り外します。
- ⑨ メンテナンスツールをインストールしたお手持ちのパソコンにリムーバブルメディアをセットし、「コンコンコール システムメンテナンス」を起動します。
- ⑩ メニューバーから **ファイル(F)ー外部データベース取り込み(復旧)...** を選択します。
- ⑪ 取り込み元データベースファイル参照ダイアログボックスからリムーバブルメディアに保存されたデータベースファイルを指定し **開く(O)** をクリックします。



- ⑫ 対象データを全て選択して **データ取り込み** をクリックします。
- ⑬ 取り込み終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。

・ メンテナンスデータの最新化(ネットワークに接続している場合)

- ① メンテナンスツールをインストールしたお手持ちのパソコンの「コンコンコール システムメンテナンス」を起動します。
- ② メニューバーから **ファイル(F)ー外部データベース取り込み(復旧)...** を選択します。
- ③ ファイル参照ダイアログボックスの **ファイル名(N)** に「¥¥xxx.xxx.xxx.xxx¥Datas¥dbCCC.mdb」を入力し **開く(O)** をクリックします。(xxx.xxx.xxx.xxx はコンコンコール本体に設定したIPアドレス)
「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示される場合がありますが、この場合「別のアカウントを使用する」を選択し、**ユーザー名** に「ccc」、**パスワード** に「ccc」を入力し、**資格情報を記憶する** にチェックを入れてください。



- ④ 対象データを全て選択して **データ取り込み** をクリックします。
- ⑤ 取り込み終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。

参考: コンコンコール本体の共有フォルダーを予めネットワークドライブに割り当てておくことも可能です。
共有フォルダーはコンコンコール本体の「C:¥Program Files¥ComConCall¥Datas」です。(共有名: Datas)

・ **メンテナンス方法(USBメモリ等を使用する場合)**

- ① メンテナンスツールをインストールしたお手持ちのパソコンに USB メモリー等のリムーバブルメディアをセットして「コンコンコール データメンテナンス」を起動します。パスワードや指紋認証付きのリムーバブルメディアを使用している場合はロックを解除してください。
- ② 連絡先データを編集し、保存します。連絡先の編集方法などは「5 連絡先データの登録・修正方法」を参照してください。
- ③ データメンテナンスの「外部データベース書き出し」で「書き出し先データベース先ファイル名」にリムーバブルメディア上のデータベースファイルを追加します。(実際には存在しないファイル名を指定して新しくデータベースファイルを作成します)「外部データベース書き出し」の操作方法などは「5 9) 外部データベース書き出し」を参照してください。
- ④ **書き出し実行** をクリックして実行します。

参考: スケジュール運転管理やシステムメンテナンスでデータを編集した場合はそれぞれのメンテナンスツールで同様に **ファイル(F)ー外部データベース書き出し(W)** を実行します。

- ⑤ リムーバブルメディアをコンコンコール本体にセットします。パスワードや指紋認証付きのリムーバブルメディアを使用している場合はロックを解除してください。
- ⑥ 画面の3点タッチからシステムメニューを表示して、**データ取り込み** をクリックします。
- ⑦ データ取り込みダイアログが開き、データの検索が始まります。手動で取り込むデータを指定する場合は、**検索中止** をクリックして目的のデータを指定してください。

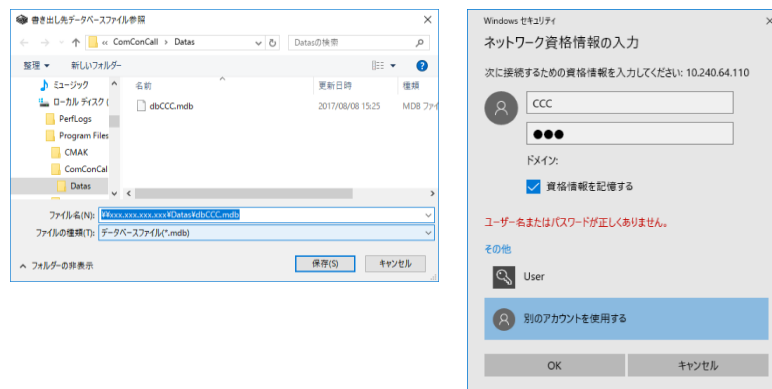


- ⑧ 目的のデータが表示されたら、取り込む項目を選択して、**取り込み** をクリックします。目的のデータベースが「参照先データベースファイル名」の一覧に表示されない場合は **再検索** をクリックするか、「参照先データベースファイル名」の一覧から「その他のデータベースファイルを参照...」を選択して直接データベースファイルを指定してください。
- ⑨ データベースの最適化が行われ、プログラムが再起動します。
- ⑩ データが更新されているか確認してください。

・ メンテナンス方法(ネットワークに接続している場合)

- ① メンテナンスツールをインストールしたお手持ちのパソコンの「コンコンコール データメンテナンス」を起動します。
- ② 連絡先データを編集し、保存します。連絡先の編集方法などは「5 連絡先データの登録・修正方法」を参照してください。
- ③ メニューバーから **ファイル(F)ー外部データベース書き出し(W)** を選択します。
- ④ 書き出し先データベースファイル名の一覧にネットワーク先のコンコンコールのデータベースファイル名が登録されていることを確認します。登録されていない場合は **追加** をクリックしてファイル参照ダイアログボックスの**ファイル名(N)** に「¥¥xxx.xxx.xxx.xxx¥Datas¥dbCCC.mdb」を入力し **保存(S)** をクリックします。(xxx.xxx.xxx.xxx はコンコンコール本体に設定したIPアドレス)

「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示される場合がありますが、この場合「別のアカウントを使用する」を選択し、**ユーザー名** に「ccc」、**パスワード** に「ccc」を入力し、**資格情報を記憶する** にチェックを入れてください。



- ⑤ **書き出し実行** をクリックします。

参考: 外部データベース書き出しについては「5 9) 外部データベース書き出し」を参照してください。

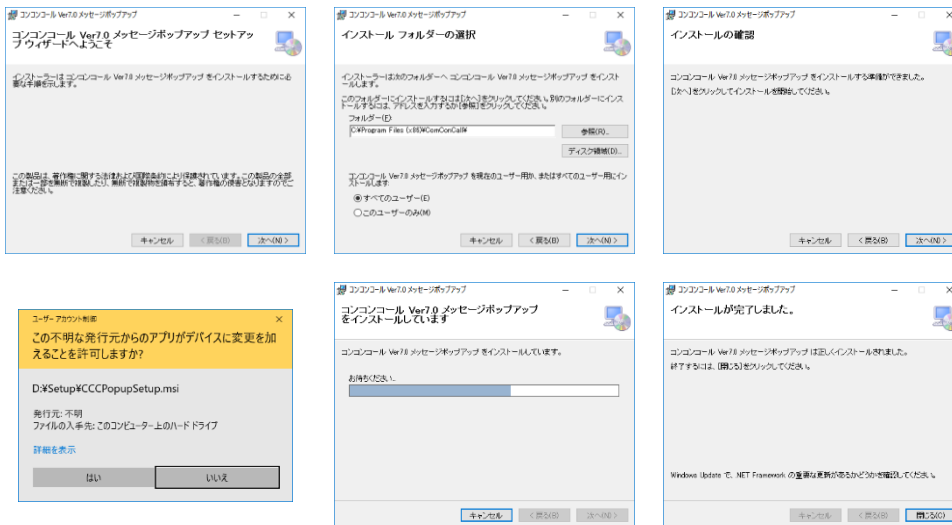
参考: スケジュール運転管理やシステムメンテナンスでデータを編集した場合はそれぞれのメンテナンスツールで同様に **ファイル(F)ー外部データベース書き出し(W)** を実行します。


参考: コンコンコール本体の共有フォルダーを予めネットワークドライブに割り当てておくことも可能です。共有フォルダーはコンコンコール本体の「C:¥Program Files¥ComConCall¥Datas」です。(共有名: Datas)

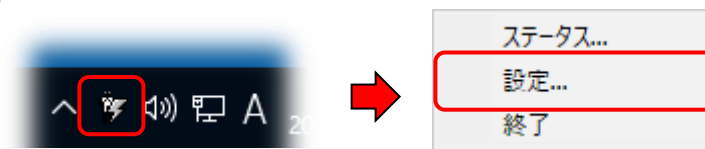
2) メッセージポップアップ (スペシャルプラン)

・ インストール方法

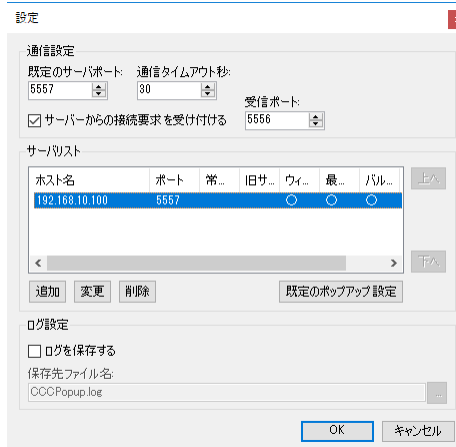
- ① 担当者のパソコンに、「メッセージポップアップ セットアップ CD-ROM」を挿入します。
- ② CD-ROM の自動再生機能によりセットアップが起動します。セットアップが自動的に起動しない場合は、Windows の「スタート」メニューから **プログラムとファイルの検索** に「D:¥Setup¥Setup.exe」と入力してセットアップを実行してください。(CD-ROM ドライブが D:の場合)
- ③ メッセージポップアップのセットアップウィンドウが表示されたら **次へ(N)** をクリックします。
インストール先のフォルダーを指定し、インストールするユーザーのタイプを指定します。
インストール途中でユーザーアカウント制御で「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と表示された場合は **はい** をクリックしてください。
セットアップが終了し、「セットアップの完了」のウィンドウが表示されたら **閉じる(C)** をクリックします。




- ④ タスクトレイに表示されたメッセージポップアップアイコン () を右クリックし、表示されるメニューから **設定...** を選択します。



- ⑤ 設定画面のサーバーリストにコンコンコール本体に設定した IP アドレスを追加し、 **OK** をクリックします。



- ⑥ コンコンコール本体が稼動している状態で、タスクトレイに表示されたメッセージポップアップアイコン () をダブルクリックしてメッセージウィンドウが表示されることを確認します。

・ 複数の担当者のパソコンにインストールする場合のヒント


複数の担当者のパソコンにメッセージポップアップをインストールする場合、セットアッププログラム終了後の設定作業を以下の手順で簡略化することができます。

- ① 1 台のパソコンにメッセージポップアップをインストールし、メッセージウィンドウが表示されることを確認します。
- ② 「メッセージポップアップ セットアップ CD-ROM」に収録されたセットアップファイル(「Setup」フォルダー内の全てのファイルとフォルダー)をファイルサーバーまたは USB メモリー等の適当なフォルダーへコピーします。
- ③ メッセージポップアップをインストールしたフォルダー内の Datas フォルダー(標準では 32ビットWindows の場合は C:\Program Files\ComConCall\Datas、64 ビット Windows の場合は C:\Program Files (x86)\ComConCall\Datas)にある「CCCpopup.cfg」というファイルを、先ほどコピーした Setup ファイルの中の同名のファイルに上書きコピーします。
- ④ コピーしたセットアップファイルにより他のパソコンへインストールを行うと設定済みの状態でセットアッププログラムが完了するため、「インストール方法」の④⑤の設定作業を省略することができます。

・ メッセージポップアップウィンドウ

来訪者が担当者呼び出しの際、担当者のパソコン画面上に下図のようなウィンドウが表示されます。



Windows のタスクトレイにあるメッセージポップアップアイコン()をダブルクリックすることでコンコンコールからの呼び出しがなくてもウィンドウを開くことができます。

内蔵カメラ映像

内蔵カメラの映像が表示されます。

明るさ調整

内蔵カメラ映像の明るさを調整します。**+**をクリックすると明るくなります。**-**をクリックすると暗くなります。**⚙**をクリックするとデフォルトの明るさになります。

メッセージ表示

呼び出しメッセージが表示されます。

機能ボタン

電気錠開錠や入館票発行などの機能ボタンです。

閉じるボタン

メッセージポップアップウィンドウを閉じます。

・ 設定画面



通信設定

既定のサーバポート …… サーバ（コンコンコール本体）との接続に使用する TCP ポートの規定値を設定します。

通信タイムアウト秒 …… 通信異常が発生したとみなす時間を設定します。

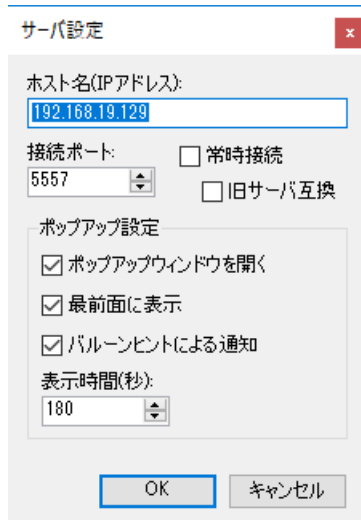
サーバからの接続要求を受け付ける（受信ポート） ……
 …… サーバ（コンコンコール本体）からの接続要求を受け付ける場合は「受信ポート」と共に指定します。

サーバリスト

接続するサーバ（コンコンコール本体）の情報を登録します。

追加 **変更** **削除** ボタンでリストの登録を編集します。**上** **下** ボタンで登録順を変更します。

既定のポップアップ設定 ボタンで新たに追加するサーバの既定値と、サーバリストに登録されていないサーバからの接続要求を受け付けたときの既定値を設定します。



ホスト名(IPアドレス) …… 接続するサーバのホスト名または IP アドレスを指定します。

接続ポート …… 接続に使用する TCP ポートを指定します。

常時接続 …… 常にサーバとの接続を維持します。

旧サーバ互換 …… 以前のバージョンとの互換用です。

ポップアップ設定

来訪者が担当者を呼び出した際の動作を指定します。

ポップアップウィンドウを開く …… ウィンドウを開きます。

最前面に表示 …… ウィンドウを最前面に表示します。

バルーンヒントによる通知 …… バルーンヒントによる通知を表示します。

表示時間 …… 表示時間を指定します。

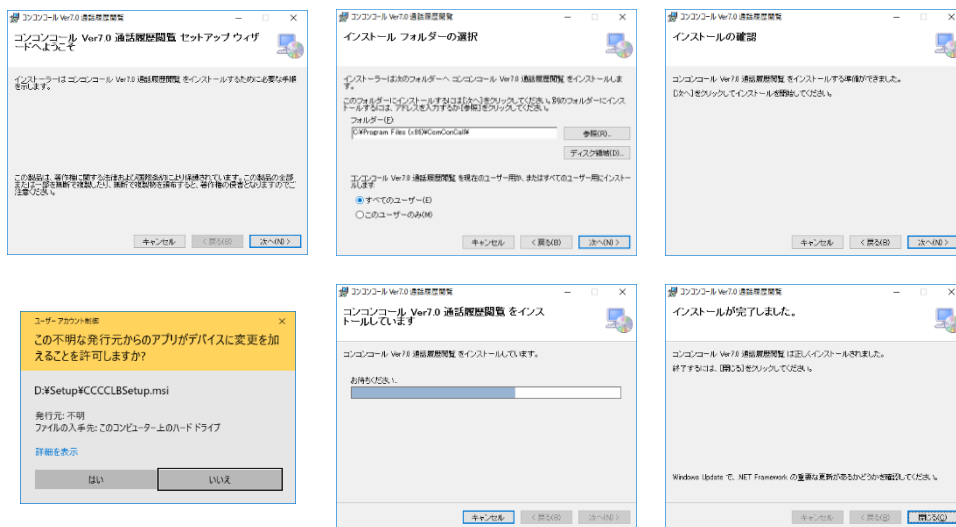
ログ設定

動作ログを保存する場合は「保存先ファイル名」と共に「ログを保存する」を設定します。

3) 通話履歴閲覧 (スペシャルプラン)

・ インストール方法

- ① 担当者のパソコンに、「通話履歴閲覧 セットアップ CD-ROM」を挿入します。
- ② CD-ROM の自動再生機能によりセットアップが起動します。セットアップが自動的に起動しない場合は、Windows の「スタート」メニューから **プログラムとファイルの検索** に「D:¥Setup¥Setup.exe」と入力してセットアップを実行してください。(CD-ROMドライブが D:の場合)
- ③ メッセージポップアップのセットアップウィンドウが表示されたら **次へ(N)** をクリックします。
インストール先のフォルダーを指定し、インストールするユーザーのタイプを指定します。
インストール途中でユーザーアカウント制御で「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と表示された場合は **はい** をクリックしてください。
セットアップが終了し、「セットアップの完了」のウィンドウが表示されたら **閉じる(C)** をクリックします。



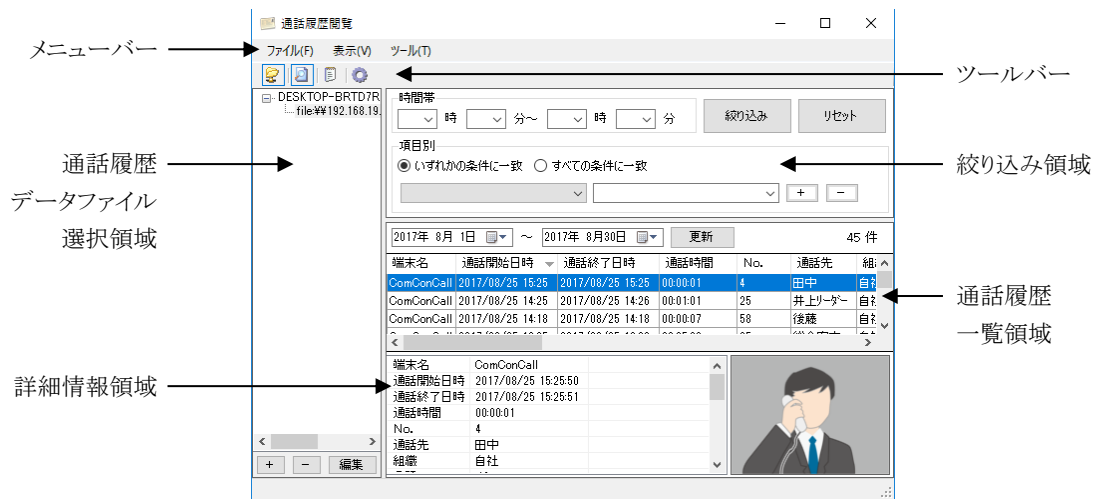
- ④ インストールした通話履歴閲覧を起動し、通話履歴データファイル選択領域に運用中の通話履歴データファイルを追加します。

・ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- メンテナンスツールをインストールしたパソコンではデスクトップ上の「コンコンコール7.0 管理メニュー」ショートカットアイコン(👤)を実行し、**コンコンコール 通話履歴閲覧** を選択します。
通話履歴閲覧を個別にインストールしたパソコンではデスクトップ上の「コンコンコール7.0 通話履歴閲覧」ショートカットアイコン(📄)を実行します。
- Windowsのスタートメニューから **コンコンコール Ver7.0-コンコンコール7.0通話履歴閲覧** を選択します。

・ 通話履歴閲覧画面



メニューバー

ファイル(F)

設定(S) 設定画面を表示します。

DialLog フォルダ取り込み(I) コンコンコール本体の DialLog フォルダにある通話ログ(テキストファイル)を取り込みます。

終了(X) 通話履歴閲覧を終了します。

表示(V)

通話履歴データファイル選択 表示/非表示(L)


..... 通話履歴データファイル選択領域の表示/非表示を切り替えます。

絞り込み 表示/非表示(N) 絞り込み領域の表示/非表示を切り替えます。


ツール(T)


テキストファイル出力(O) 通話履歴一覧領域に表示されている内容をテキストファイル形式で出力します。

ツールバー

 通話履歴データファイル選択領域の表示/非表示を切り替えます。


 絞り込み領域の表示/非表示を切り替えます。


 通話履歴一覧領域に表示されている内容をテキストファイル形式で出力します。


 設定ウィンドウを表示します。

通話履歴データファイル選択領域

通話履歴データファイルを編集/選択します。

 ボタンで参照する通話履歴データファイルを一覧に追加します。

 ボタンで選択している通話履歴データファイルを一覧から削除します。

 ボタンで選択している通話履歴データファイルを編集します。

絞り込み領域

時間帯および項目ごとに条件を指定して「絞り込み」ボタンをクリックしてください。

「リセット」ボタンをクリックすると全ての条件がクリアされます。

項目別の各項目の「+」ボタンで項目を追加します。

項目別の各項目の「-」ボタンで項目を削除します。

通話履歴一覧領域

通話履歴の一覧を表示します。

期間(年月日)を指定して「更新」ボタンをクリックすると指定した期間の通話履歴を表示します。

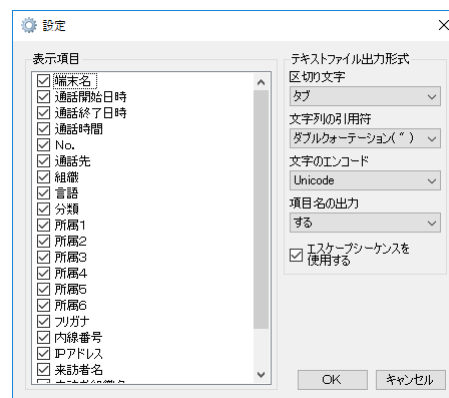
項目名をクリックすると昇順/降順で並べ替えができます。

詳細情報表示領域

通話履歴一覧領域で選択した行の詳細と通話時の内蔵カメラ映像を表示します。

内蔵カメラ映像をダブルクリックすると拡大表示ができます。

・ 設定画面



表示項目

通話履歴領域で表示する項目を選択します。

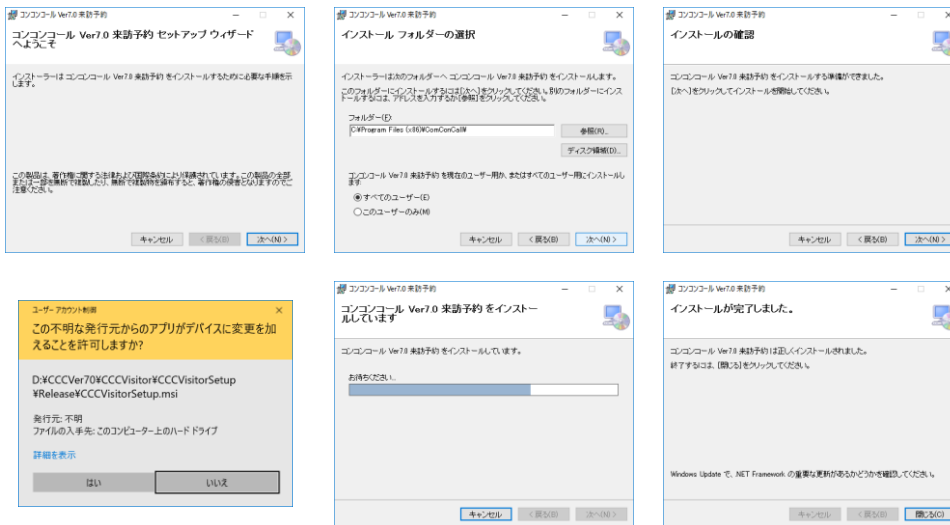
テキストファイル出力形式

出力するテキストファイルの形式を設定します。

4) 来訪予約 (来訪予約オプション)

・ インストール方法


- ① 担当者のパソコンに、「来訪予約 セットアップ CD-ROM」を挿入します。
- ② CD-ROM の自動再生機能によりセットアップが起動します。セットアップが自動的に起動しない場合は、Windows の「スタート」メニューから **プログラムとファイルの検索** に「D:¥Setup¥Setup.exe」と入力してセットアップを実行してください。(CD-ROM ドライブが D:の場合)
- ③ メッセージポップアップのセットアップウィンドウが表示されたら **次へ(N)** をクリックします。
インストール先のフォルダーを指定し、インストールするユーザーのタイプを指定します。
インストール途中でユーザーアカウント制御で「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と表示された場合は **はい** をクリックしてください。
セットアップが終了し、「セットアップの完了」のウィンドウが表示されたら **閉じる(C)** をクリックします。



- ④ インストールした来訪予約を起動し、メニューバーの **設定(S)** - **応対者情報編集...** から応対者を登録します。

・ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- ・ デスクトップ上の「コンコンコール7.0 来訪予約」ショートカットアイコン()を実行します。
- ・ Windowsのスタートメニューから **コンコンコール Ver7.0** - **コンコンコール7.0 来訪予約** を選択します。

・ 来訪予約登録画面

メニューバー**管理(M)**

- 新規作成(N)**新しい来訪予約の作成を開始します。
- 登録内容編集(E)**表示されている発行済みの来訪予約を編集します。
- 来訪予約一覧(L)...**来訪予約一覧画面を表示します。
- 終了(X)**来訪予約登録を終了します。

設定(S)

- 対応者情報編集...**対応者情報編集画面を開きます。
- 来訪予約データファイル変更...**来訪予約データを保存するファイルを変更します。

来訪予定情報入力領域

来訪予定日時と来訪者の情報を入力します。

履歴検索 ボタンをクリックすると過去に発行したことのある来訪者を一覧画面から選択できる来訪者履歴検索画面を表示します。

対応者情報選択領域

対応者と対応言語を選択します。

受付番号発行領域

有効期間を指定して **受付番号発行** ボタンをクリックすると来訪予定者情報入力領域と対応者情報選択領域で指定された情報をもとに受付番号を発行します。

メール作成 ボタンをクリックすると既定のメーラーのメール作成画面を表示します。

クリップボードにコピー ボタンをクリックすると予め設定されたメール本文のテキストをクリップボードにコピーします。

2次元コード表示領域

発行した受付番号の2次元コードを表示します。表示された2次元コードをドラッグすることで2次元コードを画像ファイルとして扱えますので、メールへの添付やフォルダーへの保存が簡単に行えます。

画像ファイルに保存 ボタンをクリックすると2次元コードを画像として保存できます。

クリップボードにコピー ボタンをクリックすると2次元コードを画像としてクリップボードにコピーします。

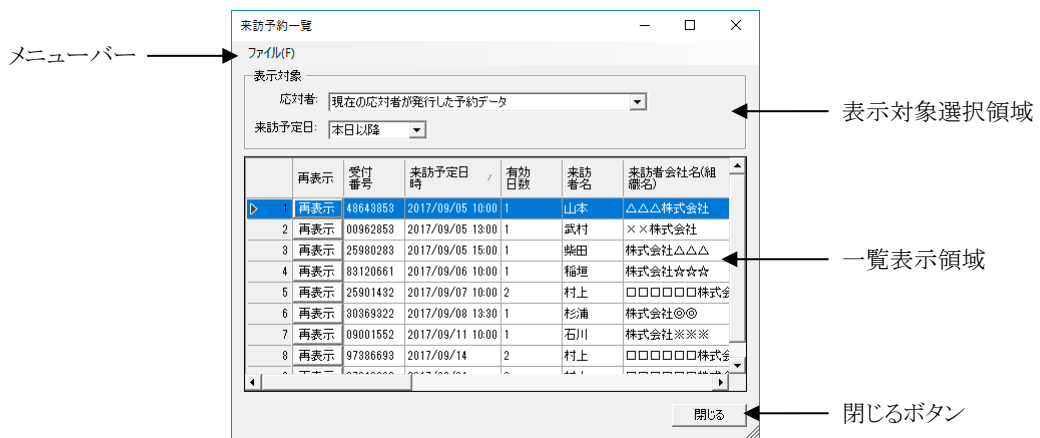
機能ボタン領域

新規作成 新しい来訪予約の作成を開始します。

登録内容編集 表示されている発行済みの来訪予約を編集します。

閉じる 来訪予約登録を終了します。

・ 来訪予約一覧画面



メニューバー

ファイル(F)

テキストファイルへ出力(O)... 一覧表示の内容を区切り記号や文字のエンコード形式を指定してテキストファイルに出力します。

閉じる(C) 来訪予約一覧画面を閉じます。

表示対象選択領域

応対者 「現在の応対者が発行した予約データ」、「この端末に登録された応対者が発行した予約データ」、「全ての予約データ」のいずれかから選択された応対者の予約データを表示します。

来訪予定日 来訪予定日が「本日以降」、「1週間前」、「1ヶ月前」、「1年前」、「全て」のいずれかから選択された時期以降の予約データを表示します。

一覧表示領域

表示対象選択領域で指定された予約データの一覧を表示します。

再表示 ボタンをクリックすると来訪予約登録画面にその内容を表示します。

閉じるボタン

来訪予約一覧画面を閉じます。

・ 来訪者履歴検索画面



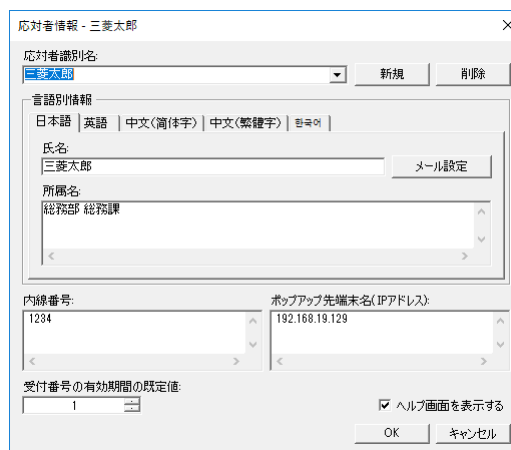
過去に発行したことがある来訪者を一覧表示します。

検索キーワードを入力し **検索** ボタンをクリックすることで「来訪者名」、「会社名(組織名)」、「フリガナ」、「メールアドレス」の項目に検索キーワードを含む来訪者データを絞り込みます。

インデックスタブをクリックするとそのタブの文字から始まるフリガナの来訪者を表示します。

表示 ボタンをクリックすると現在選択された来訪者の情報を来訪予約登録画面の来訪者情報に表示します。

・ 応対者情報編集画面



応対者識別名

応対者情報選択画面に表示される応対者を識別する名前を指定します。

ドロップダウンからその他の応対者を選択し編集ができます。

新規作成 ボタンをクリックすると新たな応対者を登録できます。

削除 ボタンをクリックすると現在選択されている応対者を削除します。

言語別情報

応対者の氏名と所属名を言語別に指定します。

メール設定 ボタンをクリックするとメール設定画面を開きます。

内線番号・ポップアップ先端末名(IP アドレス)

応対者を呼び出すための内線番号とメッセージポップアップを表示するコンピューター端末のホスト名(IP アドレス)を指定します。

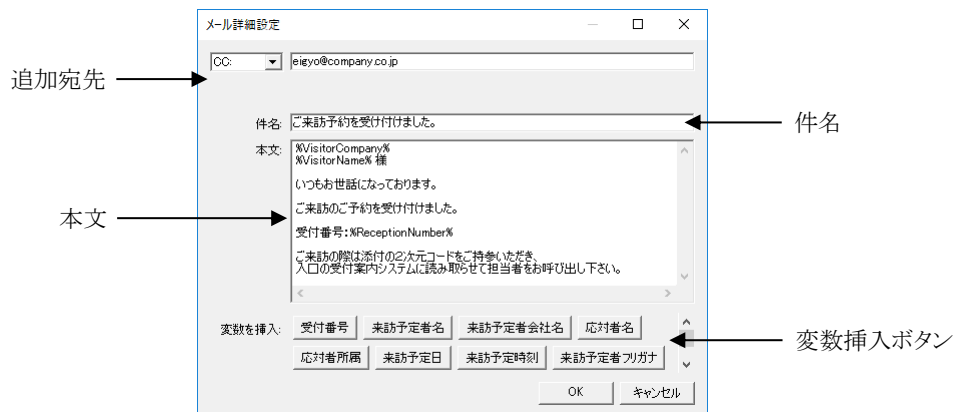
受付番号の有効期間の既定値

来訪予約登録画面の受付番号の有効期間に予め表示する日数を指定します。

ヘルプ画面を表示する

説明用のメッセージウィンドウの表示/非表示を指定します。

・メール設定画面



追加宛先

来訪予定者のメールアドレス以外に追加する送信先メールアドレスを指定します。

件名

「メール作成」で作成するメール件名の初期値を設定します。

本文

「メール作成」で作成するメール本文の初期値を設定します。

変数挿入ボタン

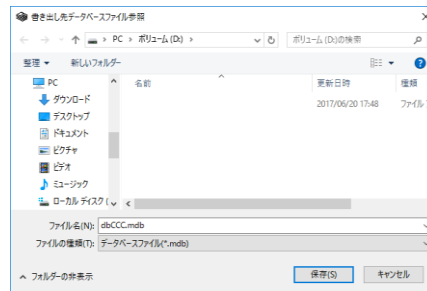
追加宛先や件名、本文のカーソル位置に来訪予約で登録した各種情報を表示する変数を挿入します。

7 データのバックアップ／復旧

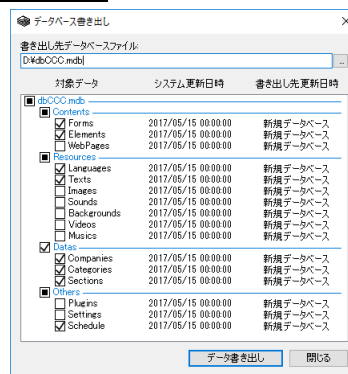
不慮の事故等で大切なデータが失われないよう、コンコンコールのメンテナンス後にデータのバックアップを行うことをお勧めします。

1) バックアップ

- ① 「コンコンコール システムメンテナンス」を起動します。
- ② メニューバーから **ファイル(F)－外部データベース書き出し(バックアップ)** を選択します。
- ③ 書き出し先を指定するウィンドウが表示されるので、任意の場所・ファイル名を指定し、**保存** をクリックします。
(書き出し先を指定するウィンドウが表示されない場合は参照ボタン(**...**)を押すと表示されます)



- ④ 対象データを選択して **データ書き出し** をクリックします。



- ⑤ 書き出し終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。

参考: 連絡先データは「Sections」、スケジュール運転管理データは「Schedule」に対応します。その他のデータについてはカスタマイズ説明書の「2 システムメンテナンス」を参照してください。

2) 復旧

- ① メニューバーから **ファイル(F)－外部データベース取り込み(復旧)** を選択します。
- ② 取り込み先を指定するウィンドウが表示されるので、任意のファイル名を指定し、**開く(O)** をクリックします。
(取り込み先を指定するウィンドウが表示されない場合は参照ボタン(**...**)を押すと表示されます)
- ③ 対象データを選択して **データ取り込み** をクリックします。
- ④ 取り込み終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。

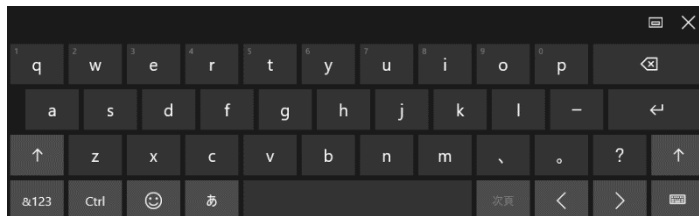
参考: 復旧作業では、バックアップ作業時に処理対象グループで指定されたデータ以外に影響を与えることなく、バックアップを行ったデータのみを復旧します。そのためバックアップ／復旧作業を応用することで、複数のコンコンコールの間でデータを簡単に移行することができます。


8 こんなとき

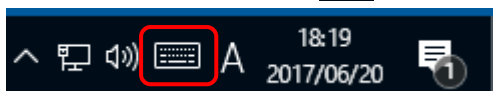
1) 文字を入力する(ソフトウェアキーボード)

Windows 画面で文字を入力する際にソフトウェアキーボードが使用できます。ソフトウェアキーボードには簡易的な「タッチ キーボード」と実際のキーボードに近い「スクリーン キーボード」があります。それぞれのキーボードの使用方は Windows のヘルプを参照してください。

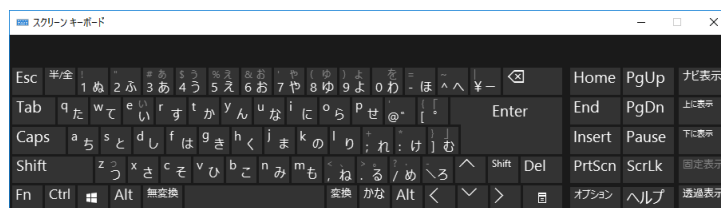
・ タッチ キーボード



Windows 画面でタスクトレイ上のタッチキーボードアイコン()をクリックして起動します。




・ スクリーン キーボード



Windows のスタートメニューから **Windows 簡単操作** - **スクリーンキーボード** をクリックして起動します。

2) 右クリック操作をする


画面のタッチ操作でマウスの右クリックと同様の操作ができます。

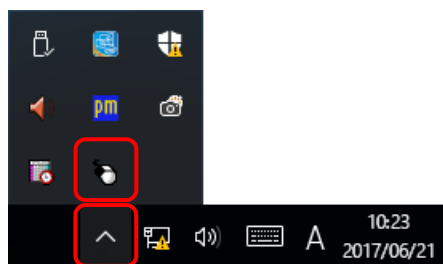
- ① タスクトレイ上の右クリックツールアイコン()をクリックすると、アイコンが右クリックの状態となります。



- ② この状態で画面をタッチすると、右クリックとして認識されます。
- ③ 右クリックは1回のみ有効です。右クリックを行うと自動的に左クリックのアイコンに戻ります。再度右クリックを行う場合は上記手順を行ってください。

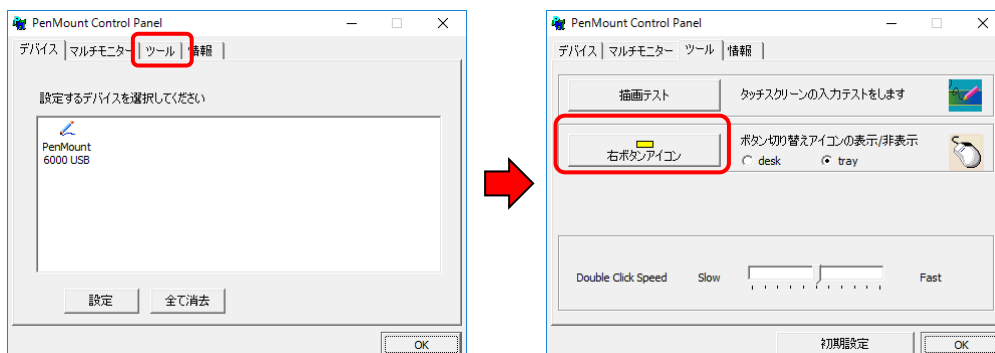
・ 右クリックツールアイコンが表示されていない場合

タスクトレイの中に隠れていないか「隠れているインジケータを表示します」ボタン()をクリックして確認します。



隠れているインジケータの中に見つからない場合は以下の手順で再表示を試みます。

- ① Windows のスタートメニューから **PenMount Windows Universal Driver** - **PenMount Control Panel** を選択します。
- ② 「ツール」タブの中の **右ボタンアイコン** を何度かクリックしてタスクトレイの中に右クリックツールアイコンを表示させます。

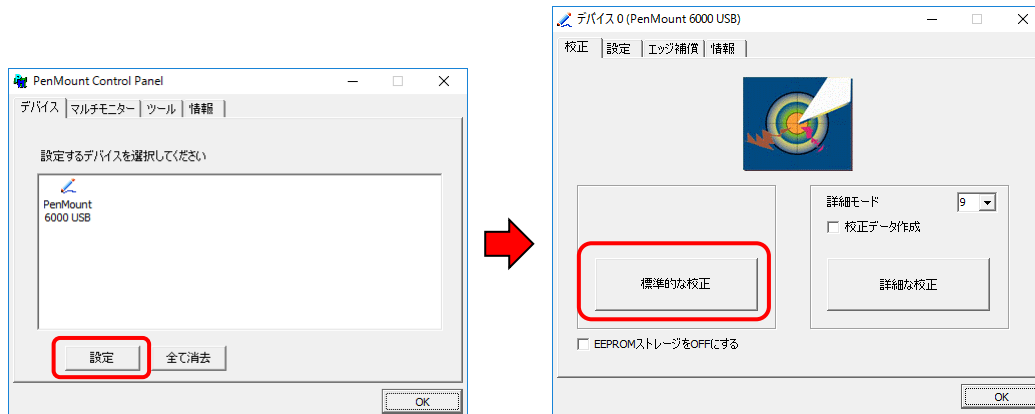


- ③ **OK** ボタンをクリックして PenMount Control Panel 画面を閉じます。

3) タッチ位置を補正する(キャリブレーション)

タッチした点とポイントの位置がずれている場合は、以下の手順でタッチ位置の補正を行ってください。

- ① システムの保護を無効化します。(「3 1) システムの保護について」参照)
- ② Windows のスタートメニューから **PenMount Windows Universal Driver**—**PenMount Control Panel** を選択します。
- ③ PenMount Control Panel 画面で **設定** をクリックし、「デバイス 0 (PenMount 6000 USB)」画面で **標準的な校正** をクリックします。



- ④ ポイントが表示されるので、画面の指示に従い順番にタッチします。

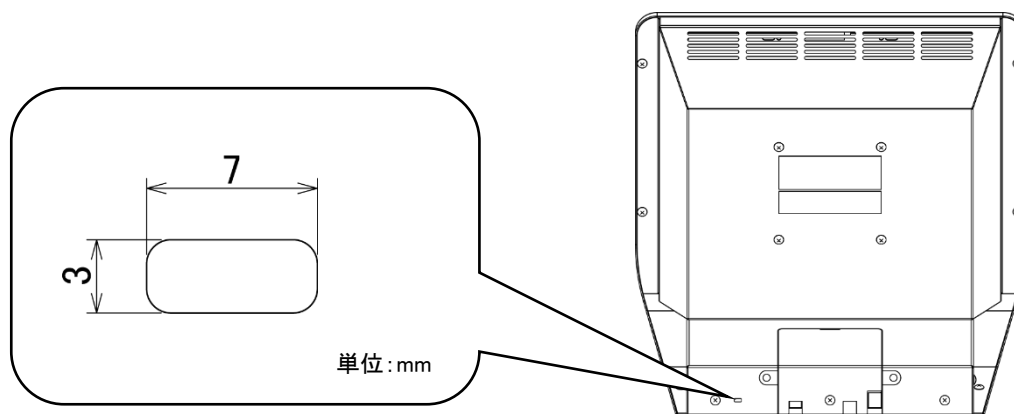


赤色のスクエア表示にタッチしてください

- ⑤ **OK** をクリックし「デバイス 0 (PenMount 6000 USB)」画面と PenMount Control Panel 画面を閉じます。
- ⑥ システムの保護を有効化します。(「3 1) システムの保護について」参照)

4) 盗難防止対策

盗難防止対策を行う場合は、市販の盗難防止器具をセキュリティスロットに取り付けてください。



5) お手入れ



注意

お手入れの際は必ず電源を OFF にしてください。

電源プラグと電話回線のモジュラーコードをコンセントから抜いてください。

◆ 外装清掃時

- 外装部分が汚れてきたら、中性洗剤をいれたぬるま湯(40℃以下)に浸した布を固く絞って拭き、洗剤が残らないようきれいな布で拭き取ってください。

◆ タッチパネル清掃時

- タッチパネルが汚れてきたら、中性洗剤をいれたぬるま湯(40℃以下)に浸した布を固く絞って拭き、洗剤が残らないようきれいな布で拭き取ってください。
- タッチパネルの除菌を行う場合は、消毒用アルコールを布にしみこませて余分な水分を絞り、タッチパネル以外の部分に触れないよう拭き取ってください。(タッチパネルに直接消毒液を吹きかけないでください。)アルコール以外の消毒液(次亜塩素酸水など)は筐体の腐食の原因となりますので使用しないでください。

お願い: お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用すると変質・変色する原因になります。

(シンナー、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学雑巾の薬剤、クレンザー等の研磨剤入りの洗剤)

お願い: タッチパネルにはガラスを使用していますので、拭き取る場合はタッチパネルに過度の力を加えないように注意してください。破損の原因となります。

お願い: 外装およびタッチパネル、マイク、通話用スピーカーへ直接水分を吹きかけないでください。故障の原因となります。

6) 「故障かな?」と思ったら

コンコンコールが正しく動作しなくなった場合は、まずこの章をお読みになり症状を確認してください。

◆ 起動に関するトラブル

症状	原因	対策方法
電源が入らない	電源ケーブルの接続不良	電源ケーブルがコンセントから抜けていないか、ゆるみなどが無いか確認してください

◆ 動作に関するトラブル

症状	原因	対策方法
音が出ない (BGM、アナウンス音声)	BGM がスタート画面以外で再生されない	コンコンコールで BGM が再生されるのは動画画面とスタート画面だけです。一度スタート画面に戻してから確認してください
	スピーカーの音量が最小になっている	Windows のスピーカー音量調節ツマミを確認してください (「3 3」アナウンス用スピーカー音量の調整」参照)
音が出ない (通話音声)	コネクタの接続不良	通話用スピーカーのコネクタが抜けていないか、ゆるみが無いか確認してください
	スピーカーの音量が最小になっている	通話用スピーカーのボリュームコントローラーを確認してください (「3 5」通話音量の調整」参照)
呼び出しが出来ない	モジュラケーブルの接続不良	モジュラケーブルが抜けていないか、ゆるみが無いか確認してください
	電話回線のダイヤル方式がパルス	本機の設定をパルスに変更してください (「3 4」電話回線のダイヤル方式がパルスの場合」参照)
	アナログ回線でない	電話工事の施工業者にアナログ回線への切り替えを依頼してください
	内線番号が登録されていない	内線が登録されているか確認してください
通話にノイズが入る	アース線が未接地	電源コードに 3P-2P 変換プラグを使用している場合はアース線(緑色)を接地してください
ネットワークの接続が不安定	コンコンコールとパソコンを LAN ケーブルで直結している	コンコンコールとパソコンの間に LAN のハブを介すなどし、LAN ケーブルでの直結を避けてください
ポップアップ画像が映らない		

9 付録

1) 保証とアフターサービス

◆ お問い合わせ先

受付案内システムのアフターサービスは、下記窓口にご相談ください。

弊社営業窓口

三菱電機エンジニアリング株式会社 営業統括部

東日本営業支社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-13-5 (ヒューリック九段ビル)

TEL (03)3288-1108 FAX (03)3288-1575

中日本営業支社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 2-45-7 (松岡ビルディング)

TEL (052)565-3435 FAX (052)541-2558

西日本営業支社

〒530-0003 大阪市北区堂島 2-2-2 (近鉄堂島ビル)

TEL (06)6347-2992 FAX (06)6347-2983

中四国支店

〒730-0037 広島市中区中町 7-32 (ニッセイ広島ビル)

TEL (082)248-5390 FAX (082)248-5391

九州支店

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-12-14 (紙与渡辺ビル)

TEL (092)721-2202 FAX (092)721-2109

技術的な問合せ窓口

三菱電機エンジニアリング株式会社

中津川事業所

〒508-0015 岐阜県中津川市手賀野 3-40

TEL (0573)66-6872 FAX (0573)66-2563

保守・サービス窓口

三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社 コールセンター

フリーダイヤル 0120-225-965

(受付時間: 平日9:00~17:00 土・日・祝・年末年始除く)

◆ 保証書について

受付案内システムのご利用を始める前に保証書に必要な事項をご記入の上、大切に保管していただきますようお願いいたします。

保証書の紛失、記入漏れ等により弊社からお客様を確認できない場合、適切な保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意願います。

保証書は本書の最後にあります。

2) 仕様

◆ ハードウェア仕様

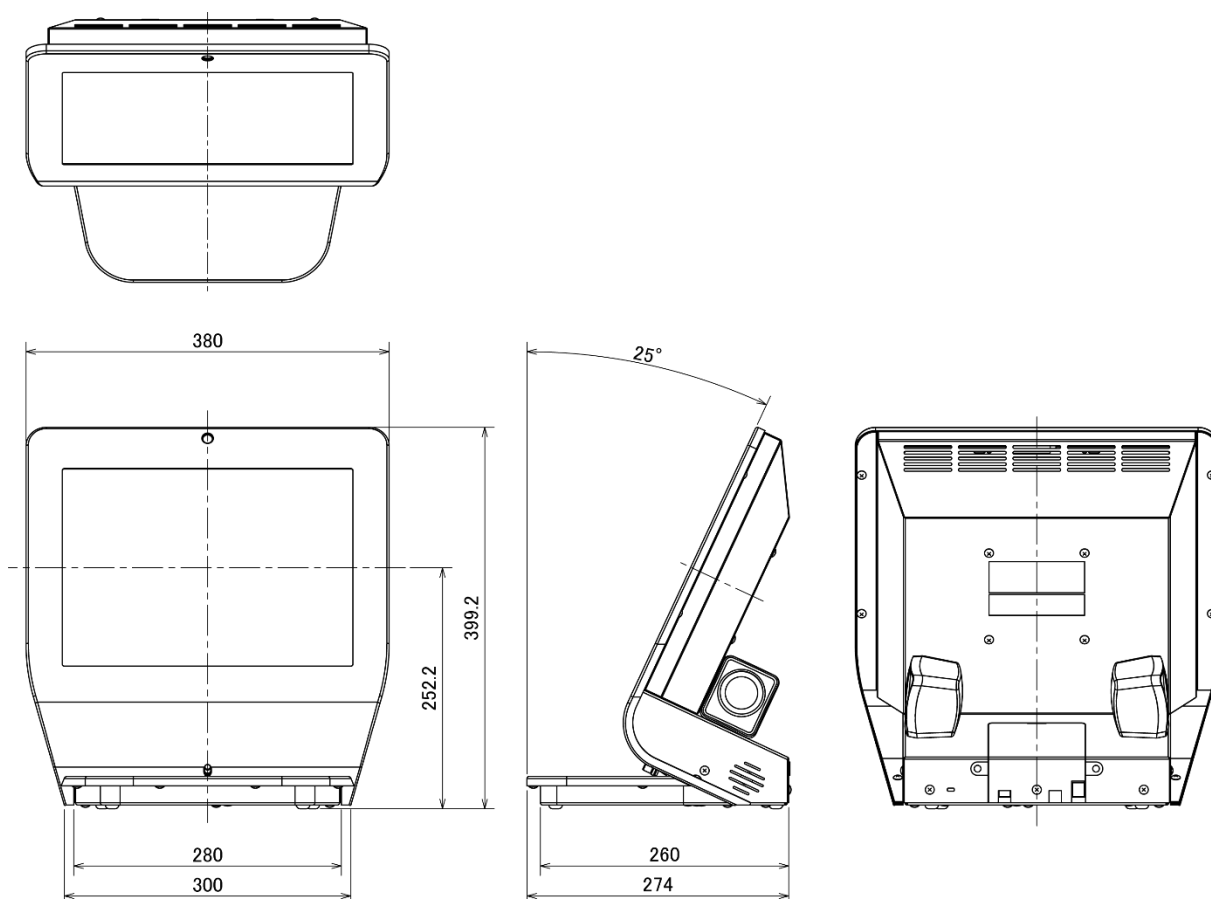
項 目		仕 様	備 考
コン ピ ユ ー タ ー	オペレーティングシステム		Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise
	CPU	CPU	Intel® Atom Dual Core Processor E3826
		クロック	1.46GHz
	記憶領域	システムメモリ	4GB
メモリー		CFast™ 32GB	
表 示	表示機能	表示デバイス	TFTカラーLCD
		サイズ	15 インチ
		分解能	XGA(1024×768ドット)
		視野角	80° (左右)、80° (上下)
		表示色	262K
		バックライト	LED
		輝度	400cd/m ²
	タッチパネル	フルフラット 5線式抵抗膜方式	
イン タ ー フ ェ ー ス	LAN	10 /100/1000BASE-TX RJ45 1ch	
	USB	USB2.0 1ch	
	電話回線	モデム用アナログ電話回線 RJ11 1ch	
	接点出力	無電圧a接点 1ch	b 接点への切り替え可
モ デ ム	通信方式	全二重	
	同期方式	調歩同期式(非同期)	
	適用回線	2線式アナログ電話回線	
	ダイヤル形式	パルス(10/20pps),トーン	
	インターフェース	RS-232C	
マ イ ク	型式	バックエレクトレットコンデンサー型	
	指向特性	全指向性	
	周波数特性	30～18,000Hz	
	感度	-42dB (0dB=1V/1Pa,1kHz)	
ア ナ ウ ン ス 用 ス ピ ー カ ー	タイプ	フルレンジスピーカー	
	インピーダンス	8Ω	
	最大出力	1W(0.5W+0.5W)	
	周波数特性	250Hz～10,000Hz	
	スピーカー直径	50mm	
通 話 用 ス ピ ー カ ー	タイプ	フルレンジスピーカー	
	インピーダンス	4Ω	
	最大出力	3.6W(1.8W+1.8W)	
	周波数特性	90Hz～18,000Hz	
	スピーカー直径	50mm	
内 蔵 カ メ ラ (人感センサー)	外形寸法	64(W) × 72(H) × 60(D)	
	撮像素子	1/4 インチ CMOS カラーセンサ	
	総画素数	640×480pixels	
	出力信号形式	USB 2.0	
	機能	露光・ゲイン・ホワイトバランス 自動調整	
筐体		鋼板製	
外形寸法		380(W) × 399.2(H) × 274(D)	
質量		9.9kg	ACアダプター0.3kg
電 源	電源電圧	AC100V±10% 50/60Hz	
	消費電力	60W 以下(省電力モード時 17W 以下)	
環 境 条 件	使用周囲温度	0℃～35℃	
	使用湿度	20%～80%RH(結露なきこと)	

◆ ソフトウェア仕様

項 目		仕 様	備 考	
動作環境	本体	オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise (32bit)	
		プラットフォーム	Microsoft® .Net Framework 4.6 以上	
	管理 PC	オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® 7 SP1 以上 (32bit/64bit)	
		プラットフォーム	Microsoft® .Net Framework 4.6 以上	
構成	管理メニュープログラム		CCCMenu.exe	
	メインプログラム		CCC1000.exe	
	データメンテナンス		CCC2000.exe	
	システムメンテナンス		CCC3000.exe	
	スケジュール運転管理		CCCSCHEM.exe	
	メッセージポップアップ ※1		CCCPopup.exe	管理 PC のみインストール
	メッセージポップアップサーバー ※1		CCCMPSVR.exe	本体のみインストール
	通話履歴管理 ※1		CCCCLB.exe	
	来訪予約 ※2		CCCVISITOR.exe	
	来訪予約設定 ※2		CCCRNReader.exe	本体のみインストール
	動体検知感度調整		MotionDetectConfig.exe	本体のみインストール
Unified Write Filter 設定		UWFUtil.exe	本体のみインストール	

※1:スペシャルプランの場合のみ ※2:来訪予約オプションを採用された場合のみ

◆ 外形図



システム使用許諾契約

第1条(使用権)

弊社は本契約により、使用者に対し使用権を与えることに同意し、使用者は以下の各条項を承諾し、この使用権を契約者以外に譲渡せず、且つ独立的な使用権を持たないことに同意します。ただし、契約者がこの使用契約書、本システムのすべての複製物および付属するすべての印刷物を譲渡し、一切のコピーを保持せず、且つ譲受人がこの契約書の条項に同意した場合に限り、契約者はこの使用契約書に基づく契約者の権利を譲渡することができます。使用者が本契約に違反した時は、弊社は使用者の使用権を終了させることができます。

第2条(ソフトウェアの複製)

使用者は本件ソフトウェアの全部または、一部を複製してはならないものとします。ただし、次の(1)号に該当する場合に限り複製することができます。

- (1)本件ソフトウェアの安全対策上の理由により、ソフトウェア登録カードに定める電子計算機(以下「指定計算機」という)に限定し使用する目的で複製することができます。ただし、弊社が本件ソフトウェアの複製を可能にする手当てをしてあるソフトウェアに限られます。

第3条(指定計算機以外での使用)

使用者はソフトウェア登録カードに定める指定計算機以外で使用しないものとします。ただし、次の各号に該当する場合は、その事態が消滅するまでの期間、指定計算機以外の計算機で一時的に使用することができるものとします。

- (1)指定計算機が保守点検、調整、故障等の作業のため使用できない場合
- (2)指定計算機の据付が完了していない場合

第4条(責任の制限)

- (1)弊社は本件ソフトウェアが使用者の特定の目的のために適当または有用であることについての保証はしません。
- (2)弊社は使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者の損害あるいは第三者から使用者に対する請求に対して一切の責任を負いません。

第5条(本件システムの仕様変更)

本件システムを使用者が改変することは、弊社の文章による許可がない限り許容しません。また弊社は使用者によって改変されたシステムに関しては一切の責任を負いません。

第6条(著作権)

本件システムの著作権は、弊社に帰属します。第2条に規定する複製物についても、その著作権は著作権者に帰属します。ただし、本件ソフトウェアが記録されている記録媒体は著作権者には帰属しません

第7条(契約期間)

本契約は使用者が本件システムのパッケージを開封した時から、下記に定める各号により効力がなくなるまで有効に存続するものとします。

- (1)使用者が本件システムの使用を終了させた時。
- (2)使用者が本契約に違反し、弊社が使用者の使用権を終了させた時。

第8条(海外持出の禁止)

使用者は、事前に弊社の文章による許可がない限り、本件システムを日本国外に持ち出しあるいは送付してはならないものとします。

第9条(終了)

本契約による使用権を終了する場合、本件システムのオリジナルおよび複製物、印刷物等のすべてを破壊するか、弊社に返送するものとします。なお、破壊および返送のためのすべての費用は使用者が負担するものとします。

保証書

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

本保証書は、本記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。本保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから必ずお買い上げ日、代理店名、ご住所、電話番号の記入をご確認ください。

型名 CA-15HF5(W,M,B)-1	製造番号
保証期間 1年	お買い上げ日 年 月 日
お客様名	代理店名・住所・TEL・担当者
住所 〒	
TEL ()	

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

<保証条件>

ご使用に際しましては、裏面の製品保証内容をご確認いただきますようお願いいたします。

無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に、製品に当社の責任による故障や瑕疵(以下併せて「故障」と呼びます)が発生した場合、保守・サービス窓口または当社営業窓口もしくはお買い上げいただきました販売店にご連絡いただき、本保証書の記載内容にもとづき当社で製品の修理または製品交換を行います。(消耗品は除きます)なお、製品交換の場合、新品もしくは同等の再調整品となり、製造番号が異なりますのでご了承ください。

■無償保証期間

製品の無償保証期間は、お買い上げ日または納入日より1年間とさせていただきます。

また製品の無償保証期間は、修理前もしくは製品交換前の無償保証期間を越えて長くなることはありません。

■無償保証範囲

- (1) 使用状態、使用方法および使用環境などが、取扱説明書、カスタマイズ説明書、製品本体注意ラベルなどに記載された条件、注意事項などにしたがった正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。
- (2) 無償保証期間内であっても、以下の場合には有償修理とさせていただきます。
 - ① 保証書をご提示されないとき。
 - ② 本保証書の所定事項未記入、記載内容の書き換えられたもの
 - ③ お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取扱いが不適切なため生じた故障または損害。
 - ④ お客様における不適切な保管や取り扱い、不注意、過失などにより生じた故障およびお客様のハードウェアまたはソフトウェア設計内容に起因した故障。
 - ⑤ お客様にて当社の了解なく製品に改造などの手を加えたことに起因する故障。
 - ⑥ 火災、異常電圧などの外部要因および地震、雷、風水害、その他の天災地変など不可抗力による故障。
 - ⑦ 消耗品が正常に保守・交換されていれば防げたと認められる故障。
 - ⑧ 当社製品がお客様機器に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造などを備えていれば回避できたと認められる故障。
 - ⑨ 当社出荷当時の科学技術水準では予見できなかった事由による故障。
 - ⑩ その他、当社の責任外の場合またはお客様が当社責任外と認めた故障。

機会損失・二次損失などへの補償責務の除外など

無償保証期間の内外を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する補償については、当社は責任を負いかねます。製品の無償修理をもってお客様に対する法律上または契約上発生する当社の責任の全てといたします。

消耗品について

製品に使用している構成機器には、定期的に交換が必要な部品や、場合によりオーバーホールが必要な部品があります。

(バックライト、時計機能用ボタン電池)

生産中止後の有償修理期間

当社が有償にて部品修理を受け付けることができる期間は、その機種(製品)の生産中止後6年間です。生産中止に関しては、当社営業窓口または当社 Website 上にて報じさせていただきます。

製品仕様の変更

カタログ、マニュアルもしくは技術資料に記載されている仕様は、断りなしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

修理に関するお願い

- (1) 修理に際し、お客様のプログラムやデータが消失する場合がありますので、お客様であらかじめプログラムやデータのバックアップをお願いいたします。
- (2) 製品内に保存されたお客様の固有データ(機密情報など含む)は、製品交換などで移し変えが必要となる場合がありますが、特にご指示がない場合は、機密保持をする前提でお客様の了解をいただいたものとして作業を実施いたします。
機密管理などが必要な場合は、データを削除するなどの事前処置を実施してください。
- (3) 不具合の迅速な復旧のため、製品(部品)の交換を行う場合の製品(部品)は再調整品となり、製造番号が異なりますのでご了承ください。
- (4) 有償修理後の修理該当箇所に対しては6ヵ月間無償保証いたします。
- (5) お客様にて上記(1)(2)の措置を実施しなかった場合は、当社は何ら責任を負わないものといたします。

輸出管理に関するお願い

当システム実現するためのコンピューターやソフトウェアによっては、輸出貿易管理令別表第1の8の項、貨物等省令第7条第一号第八に該当する貨物となりますので、当システム及びパソコンを海外在住者、海外法人など非居住者に提供する場合には、外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第48条第1項に基づく役務取引許可輸出許可が必要となります。

Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows®CE は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

その他、記載されているプログラム名、CPU 名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

受付案内システム デスクトップタイプ取扱説明書

発行日 2022年12月（初版発行）

発行責任 三菱電機エンジニアリング株式会社

〒508-0015 岐阜県中津川市手賀野 3-40

本プログラムおよびマニュアルは無断で複製することを禁止します。

本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。

53A952B1901